



津市一身田町2843
高田中・高等学校内
樹心会事務局
電話 059-232-2442



ご挨拶
同窓会会長
伊藤 清一

年明け早々、世界をコロナウイルスの旋風が吹き荒れ、世の人々を不安の坩堝におとし入れた感じがいたし



ご挨拶
学苑長
高臣 文祥

新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、私たちにとって未曾有の社会不安がもたらされています。

卒業生の皆様お変わりなくご健勝にてお過ごしでしょうか。

政府が三月二日からの休校要請を発令して以来、四月七日の緊急事態宣言さらにそれが五月末日まで延期されたことをうけて、全国の教育現場が停止状態にある、そんな中のご挨拶を書いています。

この間高田学苑では中学、高校、短大におきまして卒業式と入学式を何とか工夫しながら行ったところで

ます。会員の皆様方には、お変わりなくご健勝の事とお喜び申し上げます。

会員の皆様方のご指導とご協力により、一年目の昨年なんとか無事に務めさせて頂くことが出来ました。

心よりお礼申し上げます。昨年総会後に行われました選挙に

すが、学生・生徒は未だ本来の学校生活には入っていない状態です。

今年度、学苑では大きな人事異動がありましたので報告いたします。

栗原学長が三期十二年の任期を全うされたことを期にご勇退され、梅林中高校長が学長に、後任の中学校長には鷺尾副校長がそれぞれ就任することになりました。

今年は県内中学三年生の減少のピークの年度で、今後さらに緩やかに減少していく見通しです。そうしたなかで学長、校長に就任された梅林、鷺尾両先生には、学苑の運営に大いにリーダーシップを発揮して頂くことを期待していたところ、思い

がけないコロナ禍で出鼻をくじかれた感があります。

コロナとの戦いは今後も長期間に

より、竹上真人松阪市長が見事再選されました。誠に喜ばしくお祝い申し上げますとともに、益々のご活躍を期待いたします。

本年の総会でございますが、コロナウイルスには勝てず役員の皆様のご意見を頂戴し、命の大切さというところで残念乍ら中止させて頂く事と致しました。楽しみにしていただいた総会ですが、悪しからず御了承

いただきませうお願い致します。尚来年は八月一日を予定しております、一層充実した総会を目指し、

努力いたしたいと存じます。会員の皆様方多数の参加をお待ちしております

わたって続くと考えられます。両先生には、社会情勢が時々刻々と変化

する難しい局面で、いかに対応していくか、その手腕を遺憾なく発揮せられることを切に願うところです。

ところで、現在のコロナ禍のなかで、何となくその失態の印象が薄れているように思えるのが国の進めて

いた大学入試改革であります。国語と数学に一部記述式の解答を

求めること、英語において四技能（読む、書く、聞く、話す）の能力

をはかるといったものでした。それらがいずれも取りやめとなりました。

特に英語四技能の能力を求め、その能力を評価するために英検その他の民間資格のスコアを基準とするという方針が、今の高校三年生・六年生が中学に入学するタイミングで発表

ます。

本年もクラブ活動で、全国大会又それに準じる大会に出場する個人及び団体に対して、激励金をお渡し致しましたが、その数は二六の個人及び団体に及び、母校の活躍に感激すると同時に選手諸君の自信に満ちた

涼しい瞳を見て、目的を成し遂げた者だけが持つ姿を感じました。また全国大会で優秀な成績を収められた

九クラブの個人団体に対するお祝金の贈呈を行いました。今年に於いてコロナウイルスの為大会が中止になり、そのチャンスが与えられな

かったクラブが幾つかあり誠に残念

されました。教育現場ではこの制度が、試験の公平性（複数の民間テストの結果の整合性と受験料格差）や、

高校三年時に二度受験してよい方のスコアを採用する（それまでに獲得

したスコアは採用されない）などの点で懐疑的な思いがありました。しかしながら、制度が変わるのであればそれに対応しなければなりません。

私たちは、教員も生徒たちもこの制度改革に適応した英語の学びに取り組んできました。そして、五年を経

ていよいよというまさに直前の昨年

末になって取りやめとなったのです。最初から懸念されていたことがこの期に及んで再認識されたと言うことでしょうか。

でした。正に文武両道選手諸君の努力は申すまでもありませんが、先生方の熱意ある指導なくしては生まれ

ないものであり、先生方に敬意を表するとともに、心より御礼申し上げます。

同窓会名簿作成も着々と進んでおりまして、近々会員の皆様方にも問い合わせ等の書類が送付されると思います。よりよい名簿作成の為、許

せる範囲内でご協力いただきますようお願い致します。そしてこの名簿が、会員皆様相互の絆の礎になることを願います。

てこの顛末に対して施策担当側から

のまじめな謝罪の言葉は聞こえてきませんし、誰かが責任を取ったとも

聞きません。鳴り物入りで始めたことが失敗しても誰も責任を取らない。私はこのことに強い憤りを感じています。

現在の学生・生徒の皆さんは、長い休校期間の中で、九月入学が取り

ざたされるなど、この先どのように事態が進展していくのか不安な思い

の中で過ごしていることと思います。学苑の教職員は丸となって学生・生徒の皆さんを支援していきたいと考えております。学生・生徒の皆さんが、このような逆境に負けることなくそれぞれの志を貫徹されることを願っています。



ご挨拶と
現況報告
中高校長
鷺尾 尚史

同窓の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育についてご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

九年の永きにわたり務められた梅林久高前校長が高田短期大学の学長になられた後を継ぎ、今年度より中高の校長を務めさせて頂く事となりました、昭和五十年高田中学卒の鷺尾尚史でございます。校長としての職務はもちろんのこと、同窓の一員として、先輩方が築かれた同窓会の今後の発展にも微力ながらつくしてまいる所存でございます。同窓の皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し始めたことにより、二月末



ご挨拶
短大学長
梅林 久高

会員の皆様には益々ご壮健にてご活躍、ご健勝のこととお慶び申し上げ

に突然全国一斉の学校休校要請が出され、戸惑いと混乱の中、三月二日に高等学校の卒業式を行いました。今回の卒業式では感染拡大防止のため、来賓の方々と同窓生の出席をなくし、卒業生と保護者、教職員のみで卒業生を送り出しました。ご来賓の方からのご祝辞や在校生代表の送辞もなく、国歌や校歌も斉唱ではなく演奏のみという式でしたが、三年生三九六名、六年生一八三名の計五七九名がそれぞれの希望を胸に新しい世界へと進んでいきました。進学、就職の状況の詳細につきましては会報に記載されておりませんが、三年制におきましては、国公立大学で三重大学の十一名をはじめ計三十名が合格いたしました。近年の状況といたしましては、三年制からいわゆる難関国立大学への合格者が出てくることは非常に喜ばしいことであり、今年度は筑波大学、神戸大学、金沢大学など多くの大学に合格していききました。また、六年制では東京大学、

京都大学や国公立大学医学部医学科などで相変わらずの好成績を収め、進学校としての面目躍如といったところですが、(合格者数は四月一日時点での判明数です。)

部活動では、昨年度は個人戦、団体戦あわせて二十六種目の全国大会に出場する部活動に対し同窓会より激励交付金をいただきました。部員たちも同窓会の激励を励みに頑張り、ハンガリーで行われたロボコンの世界大会に科学部電気班が出場し好成績を取めたのを筆頭に、全国高等学校文化連盟将棋新人大会個人優勝(将棋部)、全日本高等学校馬術選手権大会個人準優勝(馬術部)、NHK杯全国高校放送コンテストテレビドキュメント部門第三位(放送部)など全国でも大活躍してきました。

今年度は筑波大学、神戸大学、金沢大学など多くの大学に合格していききました。また、六年制では東京大学、京都大学や国公立大学医学部医学科などで相変わらずの好成績を収め、進学校としての面目躍如といったところですが、(合格者数は四月一日時点での判明数です。)

部活動では、昨年度は個人戦、団体戦あわせて二十六種目の全国大会に出場する部活動に対し同窓会より激励交付金をいただきました。部員たちも同窓会の激励を励みに頑張り、ハンガリーで行われたロボコンの世界大会に科学部電気班が出場し好成績を取めたのを筆頭に、全国高等学校文化連盟将棋新人大会個人優勝(将棋部)、全日本高等学校馬術選手権大会個人準優勝(馬術部)、NHK杯全国高校放送コンテストテレビドキュメント部門第三位(放送部)など全国でも大活躍してきました。

今年度につきましては、新型コロナウイルス感染症のため、インターハイなど、運動部や文化部の部員たちが目指してきた全国大会や地方大会が次々と中止になり、日頃の努力の

コロナの影響は四月以降の学校生活にも大きく影響しています。新高校I年生三九三名、中学一年生二〇五名を迎えての入学式は中止となり、各担任から新入生一人ずつに入学許可証と心ばかりの記念のお花を渡すという形で行わざるを得ませんでした。その後も、四月、五月と休校が続くなか、一学期の中間検査や校外学習など、多くの学校行事を中止することとなりました。休校中の学習支援としては、紙媒体の教材の郵送や、双方向アプリを利用して教員によるオンライン授業やホームルームを行うとともに、全生徒対象にオンライン教材ステディサプリーを採用し学習動画の視聴を促すなど生徒の学びを止めない方策をとっております。また、全担任用に緊急携

帯電話を準備し、生徒と電話連絡を行うことにより、休校期間中の自粛生活による不安や悩み、ストレスなどの精神面のケアについても十分な対応を行っています。とはいえ、教育の原点は、学校において教員と生徒が対面して行うものであることから、この会報が出る頃にはコロナウイルス感染症も終息し、平常の教育活動が行われ生徒の笑顔であふれている学校になっていることを切に願っています。

今年度は筑波大学、神戸大学、金沢大学など多くの大学に合格していききました。また、六年制では東京大学、

コロナの影響は四月以降の学校生活にも大きく影響しています。新高校I年生三九三名、中学一年生二〇五名を迎えての入学式は中止となり、各担任から新入生一人ずつに入学許可証と心ばかりの記念のお花を渡すという形で行わざるを得ませんでした。その後も、四月、五月と休校が続くなか、一学期の中間検査や校外学習など、多くの学校行事を中止することとなりました。休校中の学習支援としては、紙媒体の教材の郵送や、双方向アプリを利用して教員によるオンライン授業やホームルームを行うとともに、全生徒対象にオンライン教材ステディサプリーを採用し学習動画の視聴を促すなど生徒の学びを止めない方策をとっております。また、全担任用に緊急携

帯電話を準備し、生徒と電話連絡を行うことにより、休校期間中の自粛生活による不安や悩み、ストレスなどの精神面のケアについても十分な対応を行っています。とはいえ、教育の原点は、学校において教員と生徒が対面して行うものであることから、この会報が出る頃にはコロナウイルス感染症も終息し、平常の教育活動が行われ生徒の笑顔であふれている学校になっていることを切に願っています。

今年度は筑波大学、神戸大学、金沢大学など多くの大学に合格していききました。また、六年制では東京大学、

この度、栗原廣海前学長の任期満了に伴い、この四月から新学長に就任させていただきました。微力ながら、精一杯本学発展のため職務を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。

本学は、仏教の教え、親鸞聖人の教えを建学精神の根本として、地域社会に貢献し、活躍する人材の育成と人格形成を目指しています。現在、子ども学科とキャリア育成学科(オ fis ワークコースと介護福祉コース)の二学科があります。高田短期

大学の魅力として、①就職率の高さ。②親しみやすく、話やすい先生。③スキルアップへの実習体験。④仲間とのであいと絆が深まるキャンパスライフ。⑤伝統と歴史。があげられます。そして、学びの環境として豊かな自然に恵まれ、木々の木立から

春にはうぐいすやカッコウの声が聞こえてきます。竹藪からは、風と共に竹の葉が音楽を奏で、四季を通して心に安らぎをもたらします。植林された杉や檜が真つすぐ空に向かって伸びる光景は、私たちに無限の成長の喜びと勇気を与えてくれます。

この度、栗原廣海前学長の任期満了に伴い、この四月から新学長に就任させていただきました。微力ながら、精一杯本学発展のため職務を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。

本学は、仏教の教え、親鸞聖人の教えを建学精神の根本として、地域社会に貢献し、活躍する人材の育成と人格形成を目指しています。現在、子ども学科とキャリア育成学科(オ fis ワークコースと介護福祉コース)の二学科があります。高田短期

大学の魅力として、①就職率の高さ。②親しみやすく、話やすい先生。③スキルアップへの実習体験。④仲間とのであいと絆が深まるキャンパスライフ。⑤伝統と歴史。があげられます。そして、学びの環境として豊かな自然に恵まれ、木々の木立から

春にはうぐいすやカッコウの声が聞こえてきます。竹藪からは、風と共に竹の葉が音楽を奏で、四季を通して心に安らぎをもたらします。植林された杉や檜が真つすぐ空に向かって伸びる光景は、私たちに無限の成長の喜びと勇気を与えてくれます。

今年、新入生二二六名を迎えて、二年生の二一〇名と合計四三六名でスタートしました。募集定員は、子ども学科一五〇名。キャリア育成学科オフィスワークコース六〇名。介護福祉コース四〇名のところ内訳は、子ども学科一年生一三一名・二年生一一八名の合計二四九名。キャリア育成学科オフィスワークコースは、一年生六十九名・二年生六十一名の合計一三〇名。介護福祉コースは、一年生二十六名・二年生三十一名の合計五十七名です。夢や希望に燃えていた新入生、就職の準備や活動を怠らないうちに、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い休校となったことは、大きな影響となりました。本学も、四月の入学式をはじめ、諸活動は国・県の指針にもとづき対策を取っています。

しかし、長い休校により地域の身近な高等教育機関として、短期間で大学としての教養教育や、専門教育を修得するための学力保障・実習・短期大学士の学位をとること、あるいは、卒業後の進路決定などに影響が出たり、支障をきたしたりするのではないかと不安が募ります。非常事態宣言が解除されましたが、五月中は本学もマナバを利用したオンライン授業を展開。六月からは一部オンライン授業を残しつつ対面授業を開始します。ただし、介護福祉コー

スでは実践的な実習ができない状況にもあり、その対応が急がれます。子ども学科では、施設側の配慮により六月より施設実習を実施することとなりました。これも本学との長年により築かれた信頼関係のおかげであると感謝しています。

昨年度(令和元年)の教育活動の詳細は、本学ホームページでご覧いただけますが、主な点を列挙します。学生力向上を目指す教育課程として共通教養科目の充実を実施。主体性・協調性を育む取り組みとして新入生合宿研修。学生自治会活動の企画充実。そしてなによりも出口の保障としてキャリア教育支援です。おかげさまでキャリア研修センターの丁寧な指導により、就職先から本学生の誠実さ素直さの人物が高く評価されていることは嬉しいことです。各学科及び育児文化研究センター・キャリア支援センター・仏教教育センター・介護福祉研究センターが、地域への社会貢献事業を幼児から高齢者まで多様な内容を展開しています。各先生方の授業以外の日々の活動が効率化され、より一層本学の魅力と募集に有機的につながることを期待しています。とりわけ社会人の方もと学べるコース改善を目指したいものです。

業林業以外で就職決定しています。なかでも子ども学科では、公立保育士・幼稚園教諭に延べ三十四名の卒業生が合格していることは注目されます。

部活動では、県警察本部サイバー防犯ボランティア活動に積極的に活動。鈴鹿市立白子公民館でのボランティア活動では中心的役割を果たしました。スポーツでは、サッカーみえ高田FCは、三重県予選で決勝戦まで進みました。バレーボールのみえ高田VCSaiaは、全国六人制総合男女優勝大会で、全国三位入賞と活躍。両チームとも本学知名度アップのためにも今後の活躍を期待しています。

高等教育機関としての質的向上のための取り組みとして、学生自身による自己点検・評価を「ルーブリック」方法を導入し実施しています。小規模で地域に根差した本学なりの質保証システムの展開があるのかと考えています。

喫緊の課題としては、少子化が急速に進む中、いかに募集を確保するかが大学運営維持の生命線です。危機感を持ち、全職員が一丸となって入試広報活動を推進していくことだと痛感しています。その一つが高大教育交流事業として、県立高校十三校、私立一校と協定を結んでいます。さらに関係を深めたいと思っ

ています。進学を志す際、高校生は四大志向が強いので、短大の魅力として専門学校との相違や、国際的に認められる「短期大学士」の学位が修得できること。学費が全体的に廉価であること。少人数教育で先生のきめ細やかなサポートが行われ、学生からも保護者からも信頼を得ていること。さらに短期間で実習能力を身につけられる最大のメリットがあるので、就職に有利であること。など、あらゆる機会を利用して高校生に響くPRをしていきたいと思っています。

もう一つの重要な課題は、介護福祉コースの募集です。介護を必要とする高齢者が増加しているにも関わらず、介護福祉士を目指す日本人が極端に少ないことです。ここ数年、留学生が学んでいます。一九九五年中華民国(台湾)と交流提携以来、中国・モンゴル・ベトナムなどからの留学生が増えましたが、これらも減少し、今はネパールからの学生が多いです。日本語学校で語学を学んできていますが、日本語の難しさが資格取得の壁にもなっています。

本学では、留学生支援室に教員・全事務職員が「留学生アドバイザー」となり、一名で、三名の留学生を受け持ちます。日常生活・ビザ更新・奨学金・社会保険料・検定試験などの学習状況などをサポートし、

さらに四月からは、一年生のオンライン利用等に関して手厚くサポートしています。こうした支援が継続され、留学生の増加につながることを確信したいのですが、コロナ禍がどの様な影響になるのか不透明です。しかし何よりも、日本の学生が介護福祉の尊さに気づき、憧れる仕事にイメージチェンジし、働き方・給与の面でも改善がなされることを期待しています。全ての人が老いは不可避であり、若い人も往く道ですので、生涯学習のためにも介護福祉を大切にしていかなければならないのではないのでしょうか。是非、同窓生の皆様、本学の介護への進学を推薦していただければ幸いです。

危機意識を共有し、全職員が一体となって学生のために取り組まなければならぬ課題が多くあります。そんな思いを巡らしていると、キャンパスの木々が新緑から濃緑へと変化していく様は、学生達が今以上に自信と誇りを持ち、学びに打ち込んで成長していく姿とが重なりあいます。そしてそのキャンパスを囲う美しく眩しい自然環境の利用と活用ができないものかと改めて思索し続けています。

十九年度求人募集も各コース非常に多くの件数があり、業種別では農

善を目指したいものです。

十九年度求人募集も各コース非常に多くの件数があり、業種別では農

善を目指したいものです。

善を目指したいものです。



新任教職員紹介

- 一、氏名
- 二、担当教科
- 三、担当部活動
- 四、趣味・特技
- 五、着任のことば

中・高等学校

のメインアリーナ以外に二つの卓球室やダンスホール、柔剣道なぎなたの武道場など、一時間の授業で九講座の体育の授業が同時に行える規模です。

- 一、前川 正登
- 二、保健体育
- 三、中学校卓球部
- 四、スポーツ観戦
- 五、年月を経るたびに母校の校舎が大きく美しくなっています。

四月当初に赴任させていただきました、体育施設も他校に類を見ない素晴らしいので、大変驚いています。

まずグラウンドですが、西と東に大きく二面あり、西グラウンドは硬式野球場とサッカーフィールドそしてその周りを七五〇mのトラックが囲み、西側に馬場を有します。東グラウンドには、軟式野球場とソフトボール場、及びハンドボールコート、屋外バスケットボールコートがあります。

体育館は三棟あり、雨天でグラウンドが使えない時でも、各体育館

服のない学校だったので、高田生に憧れを抱いていました。そんな学校で教員になれることをとても嬉しく思います。私の学生時代には苦い思い出がまつまっています。違和感をうまく言葉にできなかったことが原因に挙げられます。感覚や感性は鋭くても、言葉がついてこない。変だなと感じていても、その原因や理由が分からない。自分を客観視するのに十分な言語能力がなかったのです。そんなときに言語化というアプローチがあれば、少しは安定したのかなと思っただけです。教育者になれるよう一杯頑張ります。

- 一、中川 慶乃
- 二、高II学年副担任
- 四、日曜日にお父さんと卓球しています。
- 五、本年度より高田中・高等学校でお世話になっております。高等学校校第二学年の国語を担当しております。

皆さんと一緒に学ぶことに感謝しつつ、今後とも充実した学校生活になるよう微力ながらも努めていきますのでよろしくお願います。

私は高田学苑の出身ではありませんが、三重県で育ちました。制

なく、また生徒とも直接関わることでできない日々が続いております。まだ慣れないことばかりではありますが、周りの先生方の温かいご指導のおかげで日々仕事に取り組むことができている。学校が再開後は、生徒が楽しんで英語を勉強できるように授業ができるよう精進してまいります。また、授業外でも生徒と積極的に関わりたいと考えております。

- 一、坂口 友梨
- 二、高校I年生(副担任)
- 三、バドミントン部
- 四、旅行
- 五、本年度より高田学苑でお世話になっております。教科は英語を担当しており、部活動ではバドミントン部の顧問をしております。自分の母校である高田学苑に教員として戻ってこられたことを、大変嬉しく思っております。

まだまだ至らぬ点も多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

着任してから一月あまりが経ちましたが、未だ教壇に立つことも

徒と真摯に向き合い、自らの研鑽を怠ることなく日々を過ごし、在学中に先生方からいただいたご恩を、次は自らから生徒へ向けた形で返していきたいと思っております。未熟な部分も多々あると思いますがご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

- 一、玉置 和誉
- 二、進路指導部
- 四、読書、ドライブ
- 五、今年から高田学苑にお世話になっております。担当教科は数学です。母校である高田中・高等学校で教鞭をとることを大変光栄に思います。在学中から、卒業後に至るまでお世話になっていた、多くの諸先生方と同じ現場で働くこととなり、身の引き締まる思いであります。

今年度は、コロナの影響もあり今までと全く同じ学校の様にはいかない部分もあるかと思えます。そういった状況の中でも、生

徒と真摯に向き合い、自らの研鑽を怠ることなく日々を過ごし、在学中に先生方からいただいたご恩を、次は自らから生徒へ向けた形で返していきたいと思っております。未熟な部分も多々あると思いますがご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

- 一、福田 麻未
- 二、五年生副担任
- 四、旅行、バレー観戦
- 五、本年度より高田学苑でお世話になっております。五年生の数学を担当しており、部活動は中学バレーボール部を担当しております。

新型コロナウイルス感染症の影響で今まで当たり前と思っていた日常がそうではなくなり、一日一日の大切さに改めて気付かされました。教員一年目で仕事に慣れるのに精一杯ではありますが、教材研究や授業改善などを通して一日でも早くより良い授業を届けることで、また、教科指導だけでなく生徒一人一人と真摯に向き合うことで生徒の大切な一日を充実したものにできるよう、日々精進して

徒と真摯に向き合い、自らの研鑽を怠ることなく日々を過ごし、在学中に先生方からいただいたご恩を、次は自らから生徒へ向けた形で返していきたいと思っております。未熟な部分も多々あると思いますがご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

いく所存です。

まだまだ至らない点も多々あるかと思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

一、海老原 寛英

二、生徒指導部

四、旅行、野球観戦、グルメ、ソフトボール

五、本年度より高田学苑でお世話になっております。担当する教科は理科(化学)で、部活動は馬術部を受け持つことになりました。これまででは教員とは違う職に就いておりましたが、人の人生に関わる仕事がしたいと思い、教員を目指し、今年の四月から高田学苑で働けることになり、大変感謝しております。現在は、コロナウイルスの影響で生徒たちとなかなか会うことができず、少しもどかしい気持ちではありますが、この時間を有効に活用し、教材研究や生徒指導の知識を少しでも増やしていきたいと思っております。また化学を教えていくに当たり、受験のための知識としての化学を教えるだけでなく、身近な生活や工業にどのように化学が活かされているのか、化学が利用されてどのように

社会が発展していったのかなどを伝えたいと思っております。まだまだ至らない点ばかりですが、生徒の将来のために、自分の力を発揮できるよう、精進してまいりますと思っておりますので、よろしくお願い致します。

一、小倉 和見

二、非常勤講師(国語)

四、テニス・ゴルフ

五、高田中・高等学校での授業に「青春のすべて」をぶつけたと考えております。(還暦過ぎてますけど・・・)

よろしく願います。

一、水井 博子

二、非常勤講師(保健体育)

四、DIY、手芸、ランニング

五、本年度よりご縁がありまして非常勤講師としてお世話になっております。今回ご縁があって、初めて高田学苑に足を踏み入れ日々緊張しながら過ごしております。

まだまだ至らぬ点が沢山あるかと思っておりますが、このご縁に感謝し学苑のお役に立てるように精進していきたいと思っております。今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

一、佐々木 理子

二、事務部庶務課

四、旅行・茶道・飲食店巡り・ドライブ

五、今年度よりご縁がありまして、事務部庶務課でお世話になることになりました。社会人一年目としての新たな門出を伝統ある高田学苑で迎えられること、大変嬉しく思います。

このような機会を頂けたことに感謝しながら、教職員の方々、生徒の方々のお役に立てるよう精進してまいります。

一、鈴木 正明

二、学苑本部・総務課

四、モータースポーツ・写真

五、樹心同窓会の皆様におかれましてはご健勝の御事とお喜び申し上げます。

本年より、高田学苑にお世話になっております。私も皆様と同じく、昭和四十八年に学び舎を後にいたしております。もう縁がないと思っております。たとえ真逆のまさか不思議なご縁をいただき、昭和五十六年に本山付属の高田青少年会館に呼び戻されました。四十年もの歳月が流れ、いま思うには御開祖上人より修行が足りないのではお膝元で励めよとのお示しかと理解して過ごしております。

ところが、またまた、真逆のまさか、高田学苑長の高臣先生より、御校へのお誘いをいただき馳せ参じたことです。

学生時代は、国内において様々な暗い出来事がありました。浅間山荘、三菱重工爆破、よど号ハイジャック事件など数え切れない事が起こった時代でした。

そんな世の中においても、我々は和をもって乗り越えてきました。いま、全世界、国内において新型コロナウイルスという見えない侵略者に脅かされております。

今こそ、本校の原点である仏教の礎を築かれた聖徳太子公の「和の精神」に戻り日本ワンチームで克服したいと念じております。どうぞ、今後ともお付き合いのほどを宜しくお願い申し上げます。

一、伊藤 陽香

二、カウンセリング室

四、楽器演奏(クラリネット、バス

クラリネット、ピアノなど)・折り紙などのDIY

近年、心の状態は多様化してきていると感じます。生徒の悩みも様々あり、対応の仕方も多岐にわたると感じます。本校の生徒皆さんが、「心のしなやかさ」を成長の中でつけられるようなお手伝いをしていきたいと考えています。

まだまだ至らぬ点も多々あるかとは思いますが、今後ともよろしくお願い致します。

一、古川 久美子

二、子ども学科(特任講師)

四、旅行、クラフトでの小物作り

五、本年度四月より、子ども学科の特任講師として、着任いたしました

短大

た。私が勤めた公立保育園で得た経験を、保育者を目指す学生の皆さんに伝える機会をいただき感謝しております。本学の教育理念の「やわらか心」を持ち、地域に貢献する保育者を目指す学生の皆さんに、本学での出会いや学びが、

「自分を支える生きる力の源だ」と思える様に、日々共に楽しく学んでいけたらと思っております。今年度は、新型コロナで誰もが経験したことのない新学期が始まりました。その中で、本学の皆様方が、学生の皆さんのために、協力し最善の方法を模索し、努力を惜しまない姿を拝見しました。私も早く皆様方を見習い、精一杯努力しますので、ご指導ご鞭撻をいただきますようお願いいたします。

一、生駒 昌之

二、キャリア支援センター
四、街並散策、史跡巡り
五、この四月にキャリア支援センターに着任しました。

主体的な進路選択のためのサポートをと思っています。学生の皆さんには、就職活動を通してこれからの人生、生き方について考えてほしい。生きるための力やスキル、社会常識やコミュニケーション

シモンナなどの知識や技能を身につけてほしいと願っています。そのためにも少しでもお役に立てればと念じています。どうかよろしく申し上げます。

一、里中 久美子

二、キャリア支援センター
キャリアサポーター
四、土いじり、書道
五、今年度より、キャリアサポーターとしてお世話になっていきます。

今まで園児と過ごした期間が長く、今回学生の皆さんに、私は何ができるのだろうか、日々悩んでいた時、センター長さんから「今までやってきた事を、悩んでいる学生に話してもらえばいいんですよ。」とアドバイスをいただきました。

思い起こせば、伝統ある本学で学んだ事を糧に、幼稚園及び保育所の子ども達・保護者・地域の方々の様々な思い出や、園運営に関わる沢山の経験をさせていただきました。母校への感謝を改めて感じています。

これからは、学生の皆さんとの一日一日を大切に、私なりに精一杯頑張りたいと思います。

進路指導

平成31年度生は、三年制I類211名、II類185名の合計396名、六年制183名が卒業しました。令和2年度入試の合格者数および就職決定先を既卒者を含めまとめましたので、ご報告します。

進路状況

令和2年度入試の全体・三年制・六年制の進学結果は、次の通りです。

令和2年度入試進路状況(延べ数)

令和2年4月

Table with columns for 三 年 制 (I 類, II 類), 六 年 制 (現, 卒), 小計, 合計. Rows include 国公立, 私立, 短大, 専修学校, etc.

○三年制

Table showing university destinations for 3-year students, including 筑波大学, 金沢大学, 静岡大学, etc.

過去5年間の合格者推移

Table showing the number of qualified students from H28 to R2 for various university types.

今年度も首都圏を中心とする大規模大学の定員抑制により、全国的に大学入試が本年度入試でも難化傾向

高校進路指導部

が続きました。そんな中で、今年度は筑波大学、神戸大学という難関国立大学に合格するなど、国立公立大学受験での健闘が目立ちました。COVID19の感染拡大で昨年度終わりから混乱が続いています。多くの不安を抱えながらの進学・就職を迎える高三生に寄り添いながら進路指導を行っていきたいと思います。

○六年制

Table showing university destinations for 6-year students, including 東京大学, 名古屋大学, 三重大学, etc.

過去5年間の合格者推移

Table showing the number of qualified students from H26 to H30 for various university types.

六年制でも、国立公立大学受験において健闘できたと思います。

中・高部活動

■中・高柔道部

〈中学・高校男子〉

令和二年度部員数

中学生 三年生 男子一名

女子一名

二年生 男子一名 計三名

高校生 (男子)

Ⅲ年生 五名

Ⅱ年生 五名

Ⅰ年生 六名 計十七名

平素は、学苑をはじめ卒業生の皆様、保護者の皆様よりご理解とご協力を賜り、誠に有り難うございます。

今年度は、新入生六名を迎え、スタートを切りました。コロナウィルス禍の影響で十全な始まりとは参りませんが、休校期間中に蓄えたエネルギーを日々の稽古に注ぎ、精進しております。

今後も、勝負に執着するだけでなく、全部員が学苑での生活で「文武両道」を成し遂げるべく、取り組んで参ります。今年度も、変わらぬご指導、ご声援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

〈高校女子〉

【二〇二〇年度部員数】

高校生 Ⅲ年生 女子五名

Ⅱ年生 女子九名

Ⅰ年生 女子六名

計 女子二十名

【二〇一九年度】

諸大会成績(三重県大会は上位入賞のみ)

◎東海高等学校総合体育大会

二〇一九年六月二十二・二十三日

静岡市北部体育館(静岡県)

団体戦 出場

個人戦 出場

48 kg級 出場

Ⅰ年 後藤 優菜

52 kg級 出場

Ⅱ年 大西 亜虹

57 kg級 出場

Ⅰ年 前田明日香

63 kg級 出場

Ⅱ年 伊勢谷晏未

78 kg級 出場

Ⅰ年 下田 舞愛

78 kg超級 3位

Ⅰ年 保田 恭樺

52 kg級 優勝

Ⅱ年 大西 亜虹

(全日本ジュニア出場)

愛知県武道館(愛知県)

二〇一九年七月七日

大会東海地区予選会

二〇一九年九月十三日

埼玉県武道館(埼玉県)

二〇一九年八月十三・十四日

鹿兒島アリーナ(鹿兒島県)

◎金鷲旗高校柔道大会

二〇一九年七月二十一～二十三日

福岡市総合体育館(福岡県)

団体戦 出場

57 kg級 出場

Ⅱ年 久保 初綺

78 kg級 出場

Ⅰ年 下田 舞愛

52 kg級 出場

Ⅱ年 大西 亜虹

78 kg級 出場

Ⅰ年 下田 舞愛

78 kg超級 出場

Ⅰ年 保田 恭樺

52 kg級 出場

Ⅱ年 大西 亜虹

78 kg級 出場

Ⅰ年 下田 舞愛

78 kg超級 出場

Ⅰ年 保田 恭樺

先鋒(52 kg級) 出場

Ⅱ年 大西 亜虹

二〇一九年八月十八日

三重武道館

◎全国高等学校総合体育大会

二〇一九年八月十三・十四日

鹿兒島アリーナ(鹿兒島県)

団体戦 出場

52 kg級 出場

Ⅱ年 大西 亜虹

二〇一九年九月十三日

埼玉県武道館(埼玉県)

◎第三十九回三重県高等学校女子柔道新人大大会全国高校柔道選手権予選
二〇二〇年一月十八・二十五日
名張市武道交流館いきいき

◎全国高校柔道選手権大会出場

48 kg級 3位

Ⅰ年 川崎 祥乃

52 kg級 優勝

Ⅱ年 大西 亜虹

52 kg級 準優勝

Ⅱ年 平賀 美羽

57 kg級 準優勝

Ⅱ年 久保 初綺

57 kg級 3位

Ⅰ年 前田明日香

63 kg級 3位

Ⅰ年 辻 悠花

無差別級 3位

Ⅰ年 保田 恭樺

中止

◎第四十二回全国高等学校柔道選手権大会

二〇二〇年三月二十一・二十二日

ALSOKぐんまアリーナ(群馬県)

平素は学苑をはじめ、OB・OGの皆様、保護者の皆様よりご理解、ご協力、ご支援を賜り誠にありがとうございます。

昨年度は、夏に団体戦にて東海総体に初出場することができました。そして冬には念願の団体戦優勝をし、全国高校柔道選手権大会出場を果たしました。

個人戦では多数の生徒が三重県で上位に進出し、インターハイをはじめ東海総体、東海ジュニアに出場することができました。

また、Ⅲ年大西は東海ジュニアを優勝し、全日本ジュニアに出場することができました。

しかし新型コロナウイルスの影響で全国高校柔道選手権大会が中止となり、生徒たちはとても悔しい思いをしました。

今後はさらに強化を進め、全国優勝を目指して取り組みます。

今後も変わらぬ応援をよろしくお願い致します。

◎中・高美術部

私たち美術部は、中高とも同じ教室にて制作活動に励んでいます。

新型コロナウイルスの影響でまだ活動はできていませんが、昨年度と同じく文化祭、私学展への作品展示を目標としています。

昨年度から新顧問を迎え、学校見学会にも参加し、多くの中学生が美術部にも見学に来てくれました。

ものづくりの楽しさを多くの人に伝えるのも美術部にとって大事なことだと考えています。

それぞれが自分の目標、時間に応じて作品制作していますので、小品が多くなりますが、今後は共同制作による大作にも挑戦したいと思います。

私学展は今年度も一月に行われる予定ですので、是非美術館に足を運んで頂けるとありがたいです。

たいです。

■中・高文芸部

文芸部は、高校文芸部員二十一名と中学文芸部員六名とが一緒に活動しています。(休校のため、中一と高一は未登録です。)

高校文芸部は、昨年度、第十四回全国高校生短歌大会(短歌甲子園二〇一九)に出場し、団体戦では力が及びませんでした。個人戦で福田智沙子さん(現高三)が決勝に進出しました。また、第三十四回全国高校文芸コンクールにおいて、福田智沙子さんの作品が詩部門で、佐藤知春さん(現六年)の作品が俳句部門でそれぞれ優秀賞を受賞し、十二月十四日(土)国立オリンピック記念青少年センターで行われた表彰式に参加しました。二部門同時に優秀賞に選ばれたのは今回が初めてで、本校文芸部にとって、三重県の文芸部門にとっても快挙でした。

中学文芸部には公式な大会がありませんが、高校生部員と切磋琢磨しながら創作活動に励んでいます。これからはますます積極的に活動していきたいと思えます。

■中・高クリケット愛好会

クリケット愛好会は、オーストラリアとの国際交流を契機としてチームを作り、十二年前に活動を始めました。国内の高校で、クリケットを部活動として行う学校は二校しかない

く、日本では比較的競技人口の少ないスポーツです。毎年、JOC主催の十九歳以下クリケット日本選手権大会へ参加し、全国から集まったクラブチームとリーグ戦を行い、上位入賞を目指しています。現在、中学生二名・高校生六名、合わせて八名の部員が日々活動を行っています。部員全員が初心者で、県内に練習試合を行えるチームがないので、実戦練習が不足するという悩みはありますが、生徒が主体的に練習メニューを作り、チーム内での絆を深め、万全の態勢で試合に臨めるよう励んでいます。

■中学ソフトテニス部(男子)

男子の部員数は三年生四人、二年生十七人の計二十一一人います。私達は「のびのび自主自立」をテーマにして活動に励んできました。その結果ガーデンカップ大会準優勝、津支部秋季大会優勝・サンアリーナカップ出場、津支部シングルス大会優勝・三位、ルーセントカップ津支部イン

ドア大会優勝を飾る事が出来ました。しかしこれらは、賞を取った人だけのものではありません。部員全体の協力があったからの結果です。一緒に話し合ったり、試合中大きな声で応援をしあったりしてチーム力を高めてきました。そして、他校の多くの人々と練習や練習試合をしたことで大きな刺激となり技術面や精神面でも強くなることができました。また、私達三年生は人数が少ないため

先生方との土日の練習を大切にしてください。先生方も技術向上につながっています。このようにたくさんの方々のおかげで私達は充実した部活動を行っています。

今年度はコロナウイルスの影響で、春季のさまざまな大会が中止になり、五月末現在一年生の入部登録も終わっていません。夏季も地区だけの大会になりそうです。しかし、気を抜く事なく、周りの人に対する感謝を込め、良い結果を残せるよう全力を出し切りたいと思っています。

キャプテン 田端 航

■中学ソフトテニス部(女子)

私達中学女子ソフトテニス部は現在、二年生十一人、三年生十一人の合計二十二人で活動しています。新型コロナウィルスの影響で、残念ながら一年生はまだおらず、部活体験も出来ない状況ですが、これから会えるのを楽しみに思っています。二年生は入部してから一年が経ち、頼んだことや部活の準備をテキパキとこなしてくれています。また、今年度は引退試合があるかどうかかわかりません。それでも、三年生は悔いが残らないように気を抜かず、各自練習に励んでいます。

以前は、学年を越えての交流はあまりありませんでした。しかし、今では先輩・後輩関係なく一緒に話し合っって新しいアイデアを出し合い、

また、部活の時間以外でも楽しく交流しています。様々なことが異例の年になってしまいましたが、このチームなら乗り越えられると思っています。これからもそれぞれの目標、チームの目標に向けて頑張っていきたいです。

部長 吉丸 明香里

■中学陸上競技部

中学陸上競技部は、男子十四名、女子十四の計二十八名で活動しております。そのほとんどが陸上競技未経験者ですが、日々練習に励んでいます。

昨年度、長距離では、横元陽大君が1500mで、堀内力巴君が3000mで東海大会に出場しました。また、津市中学校駅伝競走大会男子の部では、三年ぶりの優勝を掴み取り、三重県中学校駅伝競走大会では第六位と、県駅伝二年連続の入賞となりました。

短距離では、水谷玲仁君が、二〇二〇日本室内陸上競技大阪大会に出場しました。また、全日本中学校通信陸上競技三重大会では、男子4×100mR第八位と、短長とも活躍した一年となりました。

迎えた今年度は、三重県で開催予定だった全国中学校体育大会が中止となりました。もちろん、コロナ禍において、命を優先にした決断に異論はありません。ただ、三重全中に

向けて、県をあげての練習会に参加し士気を高めていたところでしたので、無念で仕方ありません。しかし、このような状況下でも、走ることを止めずに日々自主トレーニングに励んでいる選手もいます。部活動の再開までもう少しのところまでできました。再開後は休校期間中の努力が実を結ぶよう、取り組んでいきたいと思っております。

今後、中学陸上競技部の伝統を受け継ぎ精進していく所存でありますので、樹心同窓会会員の皆様のご支援のほど、よろしくお願い致します。

■中学馬術部

中学馬術部は、基本的に一般の大会に出場してありますが、唯一中学生のみで開催される大会が、新型コロナウィルス感染症の影響が開始する前の令和二年一月十九日(日)に本校、高田学苑馬場にて行われました。

この全国中学校馬術交流戦は全国の中学校馬術部員が、馬術を通して心身の育成、技術の向上・充実と生徒相互の親睦を目的に行われています。慶應義塾中等部、早稲田実業学校中等部、甲南中学校、福井工業大学附属福井中学校そして本校の五校より三十六名の選手が出場されました。各校関係者の皆様、保護者の方々と大勢の観客の中、それぞれの選手が練習の成果を発揮し、本校が

らもたくさんの入賞者を出すことができませんでした。残念ながら結果が出せなかった生徒にとっても、とても良い経験となり、競技終了後行われた懇親会・表彰式では各校選手、関係者、保護者で一〇〇名を超える盛大な会となりました。

この大会から二ヶ月と経たないうちに新型コロナウイルス感染症の影響が始まり、臨時休校が続き、中学馬術部も緊急事態宣言発令より活動中止となりました。新入生への部活紹介も行われず、新入部員のいないまま現在に至ります。

六月中旬より、部活動再開の予定になっております。感染症が終息し競技会が再開いたしましたら、高校馬術部同様、良い結果が報告できるように思っておりますので、応援の程よろしくお願いいたします。

■中学バスケットボール部

現在、中学バスケットボール部では男子が二十九名、女子が二十名所属しています。昨年春に第三体育館が竣工されたことで、体育館での練習が増え、シュート練習など基本練習だけでなく、実践練習にも時間が割けるようになりました。新体育館のおかげで他校との練習試合を実施する機会も多くなり、顧問・部員共々、バスケットボールができる環境に感謝しております。公式戦では男女ともなかなか苦戦しておりますが、その分勝利したときの喜びは非常に大

きいです。二月に行なわれた一年生大会においては、男女ともひとつ勝利を挙げました。未経験者が多い部ではありますが、基本練習を怠らず、継続して練習に取り組んできた成果だと思えます。

また、昨年九月には、「みえスポーツフェスティバル」の一環で、車椅子バスケットボールを体験させていただきました。津市を拠点に活動している車椅子バスケットボールチーム「三重チャリオッツ」様に、車椅子の使い方からミニゲームまでご指導いただきました。車椅子に乗ること自体初めての者が多く、かつ普段自分たちが行なっているバスケットボールの動きとは全く違うこともあって、味方プレイヤーにぶつかったり、バスに追いつけなかったりと最初は苦戦していましたが、練習を重ねるにつれて、次第に乗りこなすようになり、ミニゲームの時にはシュートを決める者もいました(顧問も混じってゲームに参加しましたが惨敗でした)。部員たちの適応能力の高さに脱帽しつつ、このように東京パラリンピックの種目にもなっている競技にも触れることで、目の勝利だけを追う部活動ではなく、バスケットボールをはじめ、スポーツ全体への興味・関心を広げてくれたら指導者として嬉しく思います。



■中学バレーボール部

部を通して自分と向き合う
私たちは三年生三名、二年生七名の計十名で、地区ベスト8になることを目標に、切磋琢磨しながら練習に励んでいます。

新チームが発足してから長い間、思いをぶつけ合うことを避けて練習してきました。さらに、今まで受け身で過ごしてきた私のキャプテンとしての甘さから縮まりのない雰囲気をつくり出し、試合では、相手の雰囲気にもまれ、いつの間にか負けている、ということも少なくありませんでした。

私は自分と向き合う必要があると考え、指示待ちの姿勢をやめリーダーとしての在り方を考えました。学校生活や家庭生活でも良い変化が出てきた頃、チームでミーティングを行い、本音を伝えました。目標を再確認したことで、以前よりも互いのやりとりが活発になり、仲間との絆も深まりました。バレー部での活動を通して、自分の弱さを改め、実生活でも大切なコミュニケーションについて学ぶことができました。春の大会に向けて練習試合が多くなる三月、休校でチーム練習ができなくなり、戸惑いました。この期間に心が離れないよう学校で使用しているICTツールを使って、各々が自宅で行っている練習を発表し合いい、情報を共有し、個々の技術向上

に努めてきました。メンバーの投稿のおかげで、自宅でできる練習方法をたくさん知ることができた上、部員の向上心の高さに刺激を受け、モチベーションを維持することができ、改めて仲間の大切さを感じました。まだまだ未熟な私たちですが、夏期総体ができることを信じ、試合で自分たちの力を発揮できるよう、引き続き練習していきます。最後になりましたが、日頃から私たちバレーボール部にお力添えいただいている皆様にも厚く御礼申し上げます。これからもご指導のほど、よろしくお願致します。

中学バレーボール部 主将

■中学サッカー部

僕たち、中学サッカー部はオフ・ザ・ピッチ(サッカーをしていない時の行動、学校生活)を大切にしています。「印象・信頼・感謝」この三つの言葉をオフ・ザ・ピッチのスローガンとしています。

明るい挨拶、身だしなみ、姿勢、明るい表情、返事、ものの管理などによって自分の他人からの「印象」が変わります。そして、それがサッカー部全体の印象となります。サッカーは十一人で行う信頼のスポーツです。普段の行動から約束を守る、時間を守る、嘘をつかないことで仲間や先生から「信頼」される

ようになり、絆が生まれます。友達、先生、コーチ、対戦相手、審判、保護者、そしてサッカーのできる環境に「感謝」しなければなりません。感謝するということは、他のことに対して思いやりを持つことにも繋がります。

全て当たり前のごとくですが、「凡事徹底」することでサッカーだけでなく、人として成長できます。サッカーができるありがたさに感謝し、楽しみながらこれからも頑張っていきたいと思えます。

■中学なぎなた部

現在六名が所属し、高校生と一緒に稽古に励んでいます。

昨年度、全日本中学生なぎなた大会で赤塚選手が個人の部四位に入賞しました。同大会では三年前に団体で三位に入賞したことがあります。個人入賞は初めてのことでした。また、全国少年少女武道錬成大会でも中三の部・中二の部それぞれで一名ずつが八位に入賞するなど、活躍しました。

この先輩に追いつけ、追い越せと新三年生の士気も上がっていただけに、夏まで全ての大会が中止となつたことは残念でした。ただ、秋の東海なぎなた大会は現時点では開催の方向です。昨年、同大会で赤塚選手が個人優勝を果たしており、本校としての連覇を目指して頑張りたいと思います。

クラブ成績表(中学校)

中学男子3000m	第2位	3年d組	横元 陽大
◎第65回全日本中学校通信陸上競技三重大会			
男子1500m	第6位	3年d組	横元 陽大
男子3000m	第6位	3年d組	横元 陽大
男子4×100mR	第8位	3年b組	中埜 将吾
		3年e組	西村 和将
		3年b組	高橋 真央
		3年a組	上田 湧大
◎第21回三重タスキリレー			
中学男子	第8位	2年b組	中世古陽輝
		1年b組	山口 朔矢
		2年d組	林 亮汰
		2年a組	林 汰樹
		2年c組	河俣 翔太
◎第13回美し国三重市町対抗駅伝 友好レース			
中学男子1500m	第4位	2年b組	中世古陽輝
◎第15回津シティアマソン大会サオリーナ杯2020			
2km男子中学生	第2位	2年c組	河俣 翔太
5km男子中学生	第6位	2年d組	林 亮汰
		2年b組	中世古陽輝
【男子ソフトテニス部】			
◎令和元年度 津支部ソフトテニスシングルス大会			
	優勝	2年d組	大西 一輝
	第3位	1年e組	阪本 大河
◎令和元年度ガーデンカップソフトテニス大会			
男子の部	準優勝	2年d組	大西 一輝
	準優勝	2年e組	田端 航
◎津支部秋季ソフトテニス大会			
中学男子の部	優勝	2年d組	大西 一輝
	優勝	2年e組	田端 航
【女子ソフトテニス部】			
◎津支部秋季ソフトテニス大会			
中学女子の部	第5位	2年a組	梅村理紗子
	第5位	2年d組	吉丸明香里
◎みえスポーツフェスティバル2019ソフトテニス競技会「中学生10人マッチ」			
女子の部	準優勝	2年a組	伊藤亜美沙
		2年a組	梅村理紗子
		2年a組	川本 菜子
		2年a組	孫 小雪
		2年a組	保本悠咲々
		2年b組	金 秀妍
		2年b組	森 仁美
		2年c組	浅野 文香
		2年c組	池田 悠莉
	2年c組	古市 真夕	
	2年d組	吉丸明香里	
	第3位	3年a組	石河 和花
		3年a組	大西 萌
		3年a組	桐生 実咲
		3年a組	寺田 実夏
		3年a組	村田 南実
		3年b組	小原安里彩
		3年b組	界外 心
3年b組		小林 美月	
3年c組		大西結希乃	
3年c組	松崎 ゆら		
3年d組	伊藤 愛奈		
3年e組	松本 美玖		
3年e組	水谷 天音		
【ソフトテニス部】			
◎令和元年度ルーセントカップ津支部ソフトテニスインドア大会			
	優勝	2年d組	大西 一輝
		2年e組	田端 航
【男子卓球部】			
◎津市・鎮江市友好都市提携記念 第三十一回鎮江杯争奪卓球大会			
男子中学生 団体Bの部	準優勝 高田中学校B	2年a組	池川 直希
		2年a組	松本 俊亮
		2年c組	井戸 亮太
		2年e組	清水 陽介
		2年e組	中村 貴太郎
【なぎなた部】			
◎第42回東海なぎなた大会			
中学女子試合の部	優勝	3年b組	赤塚 未悠
◎JOCジュニアオリンピックカップ第27回全国中学生なぎなた大会			
試合競技 個人 女子の部	第4位	3年b組	赤塚 未悠
◎令和元年度津市民大会			
中学演技の部	第3位	3年b組	杉森 彩葉
	第3位	2年d組	小菅 桃奈
中学個人の部	第2位	2年b組	浦野かれん

◎第40回三重県ジュニアオリンピック			
男子A100m	第7位	3年e組	西村 和将
男子A200m	第4位	3年e組	西村 和将
男子A3000m	第5位	3年d組	横元 陽大
◎津スプリントトライアスロン大会			
中学男子 スプリントトライアスロン	第4位	3年e組	西村 和将
	第5位	2年c組	野内 日出
	第2位	3年c組	伊藤 優衣
中学女子 スプリントトライアスロン	第4位	3年e組	根岸 宥依
	第6位	1年c組	吉田 芽生
	第8位	2年a組	瀬木深友佳
◎令和元年度 津市中学校駅伝競走大会			
男子の部	優勝	高田中学校	
	優勝	3年d組	横元 陽大
	優勝	2年c組	河俣 翔太
	優勝	2年b組	中世古陽輝
	優勝	3年c組	本城達汰郎
	優勝	3年e組	後藤 慧
	優勝	3年d組	堀内 力巴
	第1区 区間賞	3年d組	横元 陽大
	第3区 区間賞	2年b組	中世古陽輝
	第4区 区間賞	3年c組	本城達汰郎
◎三重県中学校駅伝徒競走大会			
	第6位	高田中学校	
男子の部	第5区 区間賞	2年b組	中世古陽輝
◎令和元年度 津市中学校陸上競技会			
女子4×100mR	第3位	1年c組	吉田 芽生
		3年c組	伊藤 優衣
		2年a組	瀬木深友佳
男子低学年 4×100mR	優勝	3年e組	根岸 宥依
		2年a組	林 汰樹
		1年b組	山口 朔矢
男子4×200mR	優勝	1年e組	上山 陽生
		2年e組	永井 滉大
		3年b組	高橋 真央
男子3000m	優勝	3年d組	横元 陽大
		3年e組	横元 陽大
		3年e組	西村 和将
男子800m	第3位	3年e組	西村 和将
男子200m	第3位	3年e組	西村 和将
男子100m	第2位	3年c組	伊藤 優衣
女子100m	第2位	3年c組	伊藤 優衣
男子総合の部	準優勝	高田中学校	
◎令和元年度 津市民体育大会			
中学男子4×100mR	第1位	3年a組	野内 日出
		3年e組	西村 和将
		3年b組	高橋 真央
		3年a組	上田 湧大
中学男子400m	第3位	3年e組	西村 和将
中学男子100m	第1位	3年e組	西村 和将
中学男子走幅跳	第2位	3年b組	高橋 真央
中学男子200m	第3位	3年a組	野内 日出
中学女子100m	第3位	3年c組	伊藤 優衣
中学女子2000m	第2位	2年c組	辻井 瑞葵
中学男子低学年 4×100mR	第2位	2年a組	林 汰樹
		1年b組	山口 朔矢
		1年e組	上山 陽生
		2年d組	田中 大斗
中学女子4×100mR	第2位	1年c組	吉田 芽生
		3年c組	伊藤 優衣
		2年a組	瀬木深友佳
		3年e組	根岸 宥依
		3年c組	本城達汰郎
中学男子800m	第1位	3年c組	横元 陽大
中学男子1500m	第1位	3年d組	横元 陽大
中学男子3000m	第1位	3年d組	横元 陽大
中学男子3000m	第2位	2年b組	中世古陽輝
中学男子3000m	第3位	3年d組	堀内 力巴
◎2019 第2回津記録会			
中学男子4×100mR	第2位	3年a組	野内 日出
		3年e組	西村 和将
		3年b組	高橋 真央
		3年a組	上田 湧大
中学男子100m	第1位	3年e組	西村 和将
		3年b組	高橋 真央
		3年c組	野内 日出
中学男子200m	第3位	3年c組	伊藤 優衣
中学女子2000m	第2位	2年c組	辻井 瑞葵
2019 第2回津記録会	第1位	3年a組	野内 日出
		3年e組	西村 和将
		3年b組	高橋 真央
		3年a組	上田 湧大
中学男子100m	第1位	3年e組	西村 和将
		3年b組	高橋 真央
		3年c組	野内 日出
中学男子800m	第2位	3年c組	本城達汰郎
中学男子1500m	第2位	3年d組	横元 陽大
中学男子800m	第2位	3年c組	本城達汰郎
中学男子1500m	第2位	3年d組	横元 陽大

令和元年度			
【剣道部】			
◎津市中学校春季総合体育大会 剣道競技の部			
男子団体	準優勝	高田中学校	
男子個人	第3位	3年a組	熊澤 牙輝
	第3位	3年d組	稗田久寿都
	第5位	3年a組	溝口雄樹人
◎第60回先賢彰徳三重県少年剣道大会			
中学男子の部	第3位	高田中学校	
◎第35回鳳凰旗争奪三重県中学校剣道優勝大会			
男子団体	敢闘賞	高田中学校	
男子個人	敢闘賞	3年a組	溝口雄樹人
	敢闘賞	3年d組	稗田久寿都
◎津市中学校体育連盟主催夏季剣道大会			
男子団体	優勝	3年a組	熊澤 牙輝
	優勝	3年a組	溝口雄樹人
	優勝	3年c組	樋口 滉大
	優勝	3年c組	吉田 勇人
	優勝	3年d組	井上 航輔
	優勝	3年d組	稗田久寿都
男子個人	第3位	3年d組	稗田久寿都
	第5位	3年a組	熊澤 牙輝
	第5位	3年a組	溝口雄樹人
◎三重県中学校剣道大会			
男子団体	第5位 (敢闘賞)	高田中学校	
【陸上競技部】			
◎第1回 鈴鹿市記録会			
中学男子4×100mR	第1位	3年e組	西村 和将
		3年a組	野内 日出
		3年b組	高橋 真央
		3年b組	水谷 玲仁
中学男子100m	第2位	3年b組	水谷 玲仁
◎第2回 鈴鹿市記録会			
中学男子4×100mR	第2位	3年b組	高橋 真央
		3年e組	西村 和将
		3年a組	野内 日出
		3年b組	水谷 玲仁
中学男子100m	第2位	3年b組	水谷 玲仁
中学男子200m	第2位	3年b組	水谷 玲仁
◎第35回三重リレーカーニバル			
中学混合4×600mR	第8位	2年a組	矢田 凜子
		2年d組	中野 結月
		3年e組	後藤 慧
		2年b組	河俣 翔太
◎2019 第1回津記録会			
中学男子100m	第1位	3年b組	水谷 玲仁
	第2位	3年b組	水谷 玲仁
中学男子200m	第1位	3年e組	西村 和将
中学男子1500m	第1位	3年d組	横元 陽大
中学男子3000m	第2位	3年d組	堀内 力巴
中学男子4×100mR	第1位	3年e組	西村 和将
		3年a組	野内 日出
		3年b組	高橋 真央
		3年b組	水谷 玲仁
中学男子低学年 4×100mR	第1位	2年a組	林 汰樹
		1年e組	上山 陽生
		1年b組	山口 朔矢
		2年e組	永井 滉大
◎第42回四日市中学校カーニバル			
1年男子100m	第4位	1年b組	山口 朔矢
男子800m	第6位	3年e組	後藤 慧
男子1500m	第4位	3年d組	横元 陽大
男子3000m	第2位	3年d組	横元 陽大
男子4×100mR	第2位	3年b組	中埜 将吾
		3年e組	西村 和将
		3年b組	高橋 真央
		3年a組	野内 日出
中学男子低学年 4×100mR	第8位	2年a組	林 汰樹
		1年e組	上山 陽生
		1年b組	山口 朔矢
		2年e組	永井 滉大
◎第14回松阪陸上競技選手権大会			
中学男子200m	第1位 (大会新記録)	3年e組	西村 和将
中学男子100m	第8位	3年b組	高橋 真央
◎第51回鈴鹿市陸上競技選手権大会			
中学男子800m	第1位	3年d組	横元 陽大
中学男子800m	第5位	3年e組	後藤 慧

◎第19回読書感想文 こころの木		
中学生部門	こころの木	3年e組 真鈴川愛子
◎三重県中学校水泳競技大会		
女子50m自由形	第5位	3年e組 原口 綾華
◎第71回三重県中学校学年別水泳大会		
女子1年生100m平泳ぎ	第2位	1年b組 廣島あつこ
女子1年生50m自由形	第2位	1年b組 廣島あつこ
女子3年生100m自由形	第5位	3年e組 原口 綾華
女子3年生50m自由形	第3位	3年e組 原口 綾華
◎三重県中学校水泳競技大会		
女子200m平泳ぎ	第7位	1年b組 廣島あつこ
◎みえスポーツフェスティバル		
女子中学生50m平泳ぎ	第2位	1年b組 廣島あつこ
女子中学生100m自由形	第7位	1年b組 廣島あつこ
◎三重県短水路選手権水泳競技大会		
女子200m平泳ぎ	第4位	1年b組 廣島あつこ
女子100m平泳ぎ	第7位	1年b組 廣島あつこ
女子50m平泳ぎ	第8位	1年b組 廣島あつこ
◎第22回ガーデンカップ水泳競技大会		
女子中学生50m平泳ぎ	第2位	1年b組 廣島あつこ
女子中学生200m個人メドレー	第2位	1年b組 廣島あつこ
◎2019年三重県中学1年生テニス大会		
女子ダブルス	優勝	1年b組 中久木陽奈
◎2019みさとオープンジュニア 10月		
12歳以下女子シングルス	優勝	1年b組 中久木陽奈
◎GROWING 2019 by HEAD 近畿地区予選		
	優勝	1年b組 中久木陽奈
◎第6回JPTA New Generation Tennis 石黒杯 近畿地区大会		
	優勝	1年b組 中久木陽奈
◎第88回東海中日ジュニア選手権大会		
12歳以下女子シングルス	第3位	1年b組 中久木陽奈
◎第39回中学生人権作文コンテスト		
	優秀な作品として表彰	3年b組 亀谷 柊瑠
◎第43回イトマン招待水泳競技大会		
中学1年女子100m平泳ぎ	第3位	1年b組 廣島あつこ
中学1年女子200m平泳ぎ	第3位	1年b組 廣島あつこ
◎三重県中学1年生テニス大会		
女子シングルス	準優勝	1年b組 中久木陽奈
◎BRIDGESTONE TECNIFIBRE TOUR 2019 全国大会U12		
女子シングルス	準優勝	1年b組 中久木陽奈
◎2019愛知安城オープンジュニア：12月		
14歳以下女子シングルス	優勝	1年b組 中久木陽奈
◎第5回ヤマハジュニアピアノコンクール村井楽器大会		
D部門	優秀賞	3年b組 加藤 薫子
◎JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2019		
中学生の部	青年海外協力隊OB会会長賞	2年b組 小塚 大雅
◎朝永振一郎記念第14回「科学の芽」賞		
	努力賞	2年a組 梅村理紗子
◎ジュニアドクター育成成熟サイエンスカンファレンス2019		
	特別賞アイデア賞	3年b組 木本 茉佑
◎令和元年度三重県立高等学校SSH児童・生徒研究発表会		
	優秀賞	3年b組 木本 茉佑
◎2019 冬季ジュニアテニス選手権大会		
U14女子シングルス	第3位	1年b組 中久木陽奈
◎三重県ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会		
女子13歳・14歳50m平泳ぎ	第3位	1年b組 廣島あつこ
女子13歳・14歳200m平泳ぎ	第3位	1年b組 廣島あつこ
◎第5回わかやまオープン水泳競技大会		
女子13-14歳50m平泳ぎ	第3位	1年b組 廣島あつこ
◎第24回PROMISEエッセイ大賞		
中学部門	佳作	1年d組 新田 莉菜
中学部門	10代の特別賞	1年c組 岩名 憂樹
◎第40回三重県小中学校書初め展		
	特選	3年a組 大西 萌
	特選	1年c組 長谷川真理
◎第18回日本ジュニア数学オリンピック		
	地区優秀賞	3年a組 倉田 佳奈

女子11~12歳50m自由形	第3位	1年b組 廣島あつこ
女子11~12歳4×50mフリーリレー	第1位	1年b組 廣島あつこ
女子11~12歳4×50mメドレーリレー	第1位	1年b組 廣島あつこ
◎三重県選手権水泳競技大会		
女子50m平泳ぎ	第7位	1年b組 廣島あつこ
女子100m平泳ぎ	第7位	1年b組 廣島あつこ
女子200m平泳ぎ	第8位	1年b組 廣島あつこ
◎第30回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞		
十六夜や削除ボタンに指運び	佳作特別賞	3年b組 藤田 沙羅
◎「第23回約束（プロミス）エッセイ大賞」（学校として）		
		高田中学校
◎第7回科学の甲子園ジュニア 三重県大会		
筆記競技	優勝Dチーム	2年a組 濱田 奈那
		2年b組 大村 美裕
		2年d組 中山 聖菜
	準優勝Fチーム	1年a組 川東 庸志
		1年b組 佐野 礼
		1年c組 土肥 悠真
第3位Bチーム	2年b組 小塚 大雅	
	2年b組 名和 優隼	
	2年c組 名越 聖	
実技競技	準優勝Dチーム	2年a組 濱田 奈那
		2年b組 大村 美裕
		2年d組 中山 聖菜
総合成績	優勝Dチーム	2年a組 濱田 奈那
		2年b組 大村 美裕
		2年d組 中山 聖菜
◎日本数学コンクール・日本ジュニア数学コンクール論文賞		
日本数学コンクール団体戦	奨励賞チーム名7071-1の幕	3年b組 亀谷 柊瑠
		3年b組 木本 茉佑
		3年b組 谷口 広翔
		3年d組 山内 康平
		3年e組 松本 美玖
		3年e組 安田 胡桃
	奨励賞チーム名Team Descartes	3年e組 山地 彩加
		3年d組 川本 里奈
		3年a組 庄司 伊吹
		3年a組 山口 真弘
		3年b組 岩本隆之介
		3年e組 日高 太貴
奨励賞チーム名TKDの眼人	3年b組 岸野 大輝	
	3年b組 内藤 柊晴	
	3年e組 鈴木 涼真	
◎第55回 三重県私学大会にて 表彰		3年e組 丸尾遼太郎
		3年b組 亀谷 柊瑠
◎第33回日本拳法中部総合大会		
中学校2年生女子の部	準優勝	2年c組 浅野 文香
◎2019全日本二胡コンクール		
少年の部	銀賞	2年e組 梁 名揚
◎第25回みえ音楽コンクール		
弦楽部門中学生の部	第3位	1年b組 笠井 実華
◎第41回全日本中学生水の作文コンクール三重県審査会		
	三県優勝賞	1年b組 米山 百音
	三県優勝賞	2年a組 梅村理紗子
	三県優勝賞	2年e組 西尾嘉世子
◎第41回全日本中学生水の作文コンクール中央審査会		
	入選	1年b組 米山 百音
	佳作	2年a組 梅村理紗子
	佳作	2年e組 西尾嘉世子
◎第16回琵琶湖・淀川流域水の作文コンクール		
	流域賞	2年a組 梅村理紗子
◎第71回全日本中学校校英語弁論大会三重県大会		
弁論の部	優秀賞	3年c組 眞岡 瑞葉
◎第65回青少年読書感想文コンクール		
	市特選	3年d組 川本 里奈
	市入選	3年b組 亀谷 柊瑠
	市入選	2年a組 保本悠咲々
	市入選	1年d組 田中 星那
◎第69回全国小・中学校作文コンクール		
	佳作	2年b組 大村 美裕
	佳作	2年b組 刀根幸太郎
	佳作	2年c組 井戸 亮太
	佳作	1年a組 平地 恭惟
◎第57回中学作文コンクール		
	三県3等	2年b組 中川 愛望
	三県3等	2年e組 渡邊 彬乃

【馬術部】			
◎みえスポーツフェスティバル			
STARTER CLASS II	第1位 (レゾーノ賞)	2年d組	長倉 万結
STARTER CLASS II	第2位 (レゾーノ賞)	1年b組	吉川 綾音
STARTER CLASS II	第3位 (ベンダリン賞)	1年c組	土肥 悠真
小障害飛越競技C-II	第1位 (レゾーノ賞)	1年b組	吉川 綾音
STARTER CLASS I	第1位 (ベンダリン賞)	3年b組	伊藤もも音
STARTER CLASS I	第2位 (レゾーノ賞)	1年b組	吉川 綾音
STARTER CLASS I	第3位 (ベンダリン賞)	1年c組	土肥 悠真
小障害飛越競技C-I	第1位 (レゾーノ賞)	1年b組	吉川 綾音
小障害飛越競技C-I	第2位 (ブルバク賞)	1年b組	吉川 綾音
◎令和元年度 全国中学校馬術交流戦			
速歩部班競技	第3位	1年a組	芝 朔矢
速歩部班競技	第4位	1年a組	河口 凜美
速歩部班競技	第5位	1年b組	富永 麻結
速歩部班競技	第6位	1年a組	松村 凌
駆歩部班競技	優勝	1年b組	吉川 綾音
駆歩部班競技	第4位	1年c組	土肥 悠真
ジムカーナ競技	第3位	3年b組	伊藤もも音
ジムカーナ競技	第5位	2年c組	戸本 結衣
ジムカーナ競技	第6位	2年e組	佐藤 大起
【放送部】			
◎第36回NHK杯全国中学校放送コンテスト 決勝			
アナウンス部門	優秀賞	3年c組	生杉 綾香
朗読部門	優良賞	2年d組	小林 杏
◎第36回NHK杯全国中学校放送コンテスト 三重県大会			
朗読部門	優良賞	1年a組	仙藤 百華
朗読部門	優秀賞	1年b組	森 花夏
朗読部門	優秀賞	1年d組	古郡 桜子
朗読部門	優秀賞	2年d組	小林 杏
朗読部門	優秀賞	3年c組	堀池 真真
アナウンス部門	優良賞	1年a組	品田 りこ
アナウンス部門	優秀賞	1年b組	竹内 小晴
アナウンス部門	優秀賞	1年a組	古川 ゆう
アナウンス部門	優秀賞	3年c組	越山 礼菜
アナウンス部門	最優秀賞	3年d組	生杉 綾香
ラジオ番組部門	最優秀賞	「今、小さな事をすただけ」 高田中学校	
テレビ番組部門	優秀賞	高田本山PRドラマ「挑戦」 高田中学校	
【科学部（電気班）】			
◎第16回中学校技術家庭科創造アイデアロボットコンテスト三重県大会			
	技術賞	1年b組	山田 智哉
	技術賞	1年d組	河端 悠太
	技術賞	1年d組	寺尾幸太朗
【書道同好会】			
◎第40回三重県小中学校書初め展			
	中日新聞社賞	1年b組	笠井 実華
◎第73回全国書道展覧会			
中学部門	中日新聞社賞	1年b組	笠井 実華
◎第74回全国書道展覧会			
中学部門	四日市市長賞	2年b組	鈴木 未風
【俳句同好会】			
◎第66回不器男俳句大会			
中学生の部	入選	1年c組	加藤 晴香
	入選	3年a組	豊田 伶和
【将棋部】			
◎日本将棋連盟・産経新聞社主催文部科学大臣杯 第15回小・中学校将棋団体戦三重県大会			
中学団体戦	優勝	3年b組	長谷川楓馬
		3年d組	神田 悠輔
		2年d組	若林 俊希
	第3位	3年a組	中尾 信壮
		3年c組	高村 琉
		2年a組	伊藤 克
【個人賞】			
◎IMG ACADEMY DISCOVERY OPEN 日本予選大会			
女子12歳以下の部	準優勝	1年b組	中久木陽奈
◎三重県ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会			
女子11~12歳100m平泳ぎ	第1位	1年b組	廣島あつこ
女子11~12歳50m平泳ぎ	第1位	1年b組	廣島あつこ

新三年生はすでに来年のインターハイを目標に設定し、各自トレーニングを続けています。一方で、新入部員の確保にむけての焦りも覚えているようです。伝統を守りつつ、さらなる発展を遂げられるように、頑張っていきたいと思います。

・JOCジュニアオリンピックカップ
フ全日本中学生なぎなた大会
(令和元年七月福井県立武道館)

女子試合の部 優勝 赤塚 未悠

団体の部・演技の部出場

赤塚 未悠・杉森 彩葉
山村 愛奈・木村 立穂

・令和元年度全日本少年少女武道錬成大会(なぎなた)
(令和元年八月日本武道館)

中学三年女子個人の部 ベスト8 杉森 彩葉

中学二年女子個人の部 ベスト8 白本 涼華

・令和元年度東海なぎなた大会
(令和元年十一月愛知県武道館)

中学女子個人の部 優勝 赤塚 美悠

■高校軟式野球部

軟式野球部は、今年で創部から10年目を迎えました。創部当初より「東海・全国で通じるチームをつくらう!」を合言葉に、選手たちは日々練習に励んできました。

創部から二年半かけて東海大会初出場を果たし、それから東海大会を何度も経験する中で、東海大会ベスト4という結果を取ることができるようになりました。

昨年の秋、県大会優勝で迎えた十一回目の東海大会では、準決勝で全国大会優勝校である中京学院大学中京高校と対戦しました。これまでも中京学院大学中京高校とは何度も対戦し、そのたびに全国の壁の高さを痛感してきました。しかし、この秋の大会では、敗れたものの1対0という非常に惜しい結果を残すことができ、悲願の全国大会出場にあたり少しのところまで近づいてきました。

選手たちは自分たちの実力に自信を持ち、春の大会こそは東海大会優勝という目標を掲げ、一人一人がより一層高い意識で練習に取り組みました。厳しい冬の練習に耐え抜き、体力・精神力を向上させ、一段と強いチームに成長しました。強豪高校との練習試合が待ち遠しく、春の大会へ向けて気持ちが高まってきました。しかし、そんな中で新型コロナウイルス感染拡大を受けて春季大会が中止になり、部活動の集大成の場が失われてしまい、悔しい思いでや

りきれません。

■高校卓球部

令和元年度の夏季以降の結果は次の通り。

【令和元年度三重県高等学校卓球選手権大会】

八月二十一日・二十二日

三重交通Gスポーツの杜伊勢

男子シングルの部では、II鈴木木波輝が第二位、男子ダブルスの部では、II1鈴木木波輝・IID山本護大ペアと、IC山下剛史・I3根門良太ペアが第三位、女子ダブルスの部では、II2岩本怜奈・II2後藤夏希が第三位に入賞しました。

【令和元年度全日本卓球選手権大会】

三重県予選会

九月二十日・二十一日 サオリーナ

ジュニア男子の部では、IID山本護大が第三位に入賞し、令和二年一月に開催される全日本選手権大会への出場を獲得しました。

【二〇一九年度三重県高等学校新人卓球大会】

十月二十六日・二十七日

三重交通Gスポーツの杜伊勢

男子学校対抗の部は第二位、女子学校対抗の部は第二位。男女とも令和元年十二月二十四日～二十六日にサオリーナで行われる東海高等学校

新人卓球大会への出場権を獲得しました。

【二〇一九年度三重県卓球選手権大会】

十一月二十三日 サオリーナ

ジュニア男子の部では、IID山本護大が第三位に入賞しました。

【二〇一九年度三重県高等学校新人卓球大会】

一月二十五日

三重交通Gスポーツの杜伊勢

二年生男子の部では、IID山本護大と、II1鈴木木波輝が第三位、一年生男子の部では、IC山下剛史が優勝、I3根門良太が第三位に入賞しました。

■硬式テニス部(男女)

執筆者・教諭 安孫子 玄

硬式テニス部は、県大会において上位を目指し日々練習に励んでいます。今年度は新型コロナウイルスの影響で活動できない状態が続いていますが、普段は使用できるコート数が少ない環境でも、練習内容を工夫しながら取り組んでいます。部員の大半は硬式テニスの未経験者ですが、先輩部員に学んだり、ある部員は個別にテニススクールに通ったりしてスキルアップに努めています。

部員同士の仲が良く、その良好な関係を築けていることは硬式テニス

部の魅力です。また、部員数が非常に多いため団体戦のメンバーに選ばれることは容易ではありませんが、それでも部員同士で切磋琢磨し合い、練習に励んでいます。そのような環境と日々の努力が、お互いに厳しくも鼓舞し合える関係にも繋がっていると考えています。

今年度に入り、本来であれば四月の選手権大会、五月には三年生最後の高校総合体育大会が開催され、三年間の集大成として臨むつもりでしたが、新型コロナウイルスの影響で中止、または延期の措置がとられています。大会に向けて準備してきた選手にとつて非常に残念な形になってしまいました。今後、テニスを何らかの形で続けていってほしいと願っております。

毎年多くの部員が入部し、全体のレベルも年々向上しているように感じます。一方で、大会結果を振り返ると、あともう少しのところでも勝利を逃してしまつた試合も多くありました。今後は試合の反省を活かし、より上位入賞を目指して活動して参りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻とともに、応援を宜しくお願ひ致します。



■高校陸上競技部

皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この会報の原稿を書くこの時期は、毎年一学期期間中の陸上競技部の現況や試合結果などを中心に報告させていただいておりましたが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により三月から学校が休校となりました。当然のことながら陸上競技部も活動停止となり、六月末までのすべての競技会が中止となりました。その後の予定も全く決まっていないう状態です（五月末現在）。

最初の休校の時は春休みから部活が再開され、四月からの大会へのエントリーも始め、いよいよスタートだと気持ちを切り替えることができていました。しかし、二度目の休校がゴールデンウィークまでとなった時は、生徒たちの反応も様々になってきました。各自でトレーニングは継続しているものの目標がないうまま時間が過ぎていく中で最高学年のメンバーにとってはそのまま引退しなければならぬかと不安に押し潰されそうになったり、目指す競技会がないのでトレーニングの組み立てがうまくいけなくなり、何のために走っているんだろうと自暴自棄になりながら進路選択が迫ってくる重圧と日々闘っています。そんな折、緊急事態宣言が発令され外出自粛で五月末まで再度休校が延期となったのです。最大の目標としてきた県総体、

東海総体、全国総体がすべて中止の報道が出され、気持ちの整理ができない生徒たちがほとんどではないでしょう。また、高校生活に期待を持って入学してもらった新入生たちは制服でさえ数回着ただけで、学校生活がスタートしていないため部活にも入部できないのです。我々顧問も生徒たちと連絡を取ったり、他校の指導者や競技会を主催する協会と今後について情報共有をしながら、今後を模索している状態です。子供たちに対して、変に期待を持たせるのではなく、現実を正直に伝えることの大切さと怖さの間になんとも言えない心境になっています。

陸上競技やスポーツは今後の人生の中で何度でも取り組むことができますが、高校での部活動は実質二年半の限られた中で、明確な目標を定め、そこを目指して今やることを逆算して、仲間と共に練習に励んでいます。コロナ禍により、あらためて目標の大切さについて考えることができました。生徒たちにもどのような言動をとるべきなのかを常に絞り出しながら、生徒たちの思いに共感しながら今できることを繰り返し続けていこうと思います。

最後に、部活動再開後もさまざまな課題が山積してくることが予想されますが、樹心会会員のみならず陸上競技部の結果で明るい話題が提供できるようにチーム高田で頑張っていきたいと思えます。

今後とも力強いご声援のほどよろしくお願い致します。

■高校馬術部

例年、馬術部は各学年何名で活動していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、新入生の入部もまだできず、四月より競技会の開催も行われていない状態です。何より団体戦、個人戦ともに全国大会が中止となつてしまいました。団体戦の全国大会優勝をめざす部員達にとって、目標を失い最高学年の生徒は大変つらい状況となりました。また昨年の全国大会個人戦で、準優勝の結果を出した六年生の藤原仁にとつては、今年はそのリベンジに意気込んでいた為、非常に残念です。

この活動自粛の状況から例年より早く三年生の三名は進学に向け、学業に専念するため五月に引退することとなり、現在は二年生四名、県外より馬術と勉学を志すために入学した一年生の吉永の計五名で十頭の馬を世話しています。大変ではありますが、この自粛ムードの中、皆大好きな馬の世話だけでも大切な時間を過ごしております。

しかしながら残念な事は続くもので、競技会が行われない今、競技会と日々のトレーニングによる一連した馬の健康管理が崩れている事もあったでしょう。長年部員達の練習、競技会に活躍したサブリエティ号が

五月四日、疝痛により永眠いたしました。

OBの皆様方におかれましても、それぞれ出会いと別れの思い出があったことと思われませんが、部員皆がこの事を忘れることなく、今一度、自分達が生き物である馬をパートナーとしていることと、日々の管理の大切さを見つめ直してもらいたいです。

日頃より馬術部OBの皆様方には大変ご支援いただいておりますところではございますが、感染症が終息し競技会が再開いたしましたら、また良い結果をご報告できればと思っております。応援の程よろしくお願ひします。

■高校男子バスケットボール部

私達バスケットボール部は、一つの試合で最後まで全力でやりきり一つでも多く勝つことを目標に練習に励んでいます。

全体練習の後、希望者の居残りです。シュート練習やハンドリングの練習など個人練習も行っています。

練習時に意識していることは、常に試合を想定することです。「シュート一本を大切に。決して雑に打たない。」「パスは正確に。」「ルーズボールは誰よりもはやく。」「各練習メニューの意識すべき点を全員で共有しています。

また、体幹の強化にも取り組んでいます。先輩達から教わった技術や

練習への姿勢などを意識しながら毎日の積み重ねを怠らず、目標を達成できるように頑張っていきます。

■高校ハンドボール部

現在ハンドボール部は、男子十八人と女子十六人で活動しています。今年度は、臨時休校や分散登校など、なかなか通常の授業が開始されず新入生の入部は未定です。例年、五月末に三年生の引退をかけて県総体に臨んでいます。今年度は残念ながら大会も中止となり寂しい幕締めとなりました。

昨年度の大会結果ですが、十月に行われた新人大会では、男子は予選リーグで名張高校に勝ちましたが、稲生高校、上野高校に敗れ、決勝トーナメントに進出することができませんでした。女子も予選リーグで桑名西高校に勝ちましたが、暁高校、津東高校に敗れて決勝トーナメントに進出することが出来ませんでした。昨年十二月に行われた選抜大会では、男子は予選トーナメントで名張青峰高校に敗れました。女子は予選トーナメントで四日市四郷高校に敗れました。

新型コロナウイルス感染への対策で昨年度末から活動を自粛し、また今後もどのようにしていくのか不安があります。しかしながら、部活動に入って良かったと思える経験がより多く出来るように考えていきたいと思います。

卒業生の皆様、今後もハンドボール部の活動を応援して頂きますようお願い致します。

■高校サッカー部

高田高校男子サッカー部は、今年度で創部二十七年目を迎えることになりました。現在、コロナウイルス感染拡大防止に伴い、活動が休止しております。毎年、四月末から行われる県総体予選も延期されており、大会開催が未定となっております。部員は、三年生十三名、二年生十七名が在籍しています。現チームは、文武両道を掲げ、勉学に励みながら、勝負にこだわっていきけるよう取り組んできました。チームの目標である「自立心」「協調性」を大切にしながら、強豪校に打ち勝てるようなチーム作りを目指しています。昨年度、男子サッカー部は三重県サッカーリーグ三部リーグにて結果を残すことができず、今年も「二部リーグ昇格」を目標に取り組んでいます。現部員達は先輩たちの残してくれた伝統を大切に受け継ぎながら、新たな記録を築き上げるため、チーム一丸となり、練習に励んでいますが、現在は活動に取り組むことができません。今後再開したときには、男女共に好成績を残していけるよう指導に励んでいきたいと感じています。

本学サッカー部は、誰からも応援されるチームになるため、チームの

一員として何事も全力で勝ちにいく闘う姿勢、他者を思いやり感謝する気持ち、そして生涯サッカーを愛し続ける気持ちを大切にしながら、「全員サッカー」を発揮できるチーム作りを目指しています。高田高校の一員としての誇りを持ち、いっそうの努力を忘れず、部員指導者共々日々精進していきますので、今後ともご支援ご協力よろしくお願ひします。

■高校なぎなた部

現在十名で活動しています。昨年度は一昨年の三重インターハイの強化チームの主力選手がほぼ残留し、三重インターハイでなしかつた優勝を目指して沖縄インターハイに臨みました。県予選最中での怪我の影響もあり、個人と演技のみでの出場となりました。個人試合では、長田選手が決勝トーナメントに進出しましたが、予選トーナメントで同率のため、延長の巴戦を二度行い、四試合余分に行った影響もあり、入賞にまでは至りませんでした。ただ、強化チーム最後の団体戦であった東海総体では、決勝戦で大将を残して優勝を決める圧勝。優勝旗を手にしました。

新チームとなってプレッシャーの中で臨んだ新人戦では個人・団体で優勝。今年こそは全国制覇！という目標のもと、準備を進めてきました。選抜中止。気持ちを切り替えて、新一年生を戦力として加え、東海連

覇・インターハイ制覇を目指してきましたが、全ての大会が中止となりました。上位進出の可能性が見えていただけに、残念な気持ちはありますが、このチームで活動できたことに感謝し、今できることを一生懸命に行っていくます。きつと、後輩達がこの無念を晴らしてくれると信じています。

休校中にリモート取材を受け、「つうぴーす」という津市の広報雑誌の部活応援隊に本部の活動が紹介されました。現チームらしい記事になっています。いつの日も「家族」のような部活でありたい、と思っています。急な三年生の引退で下級生も不安を抱えています。不安は稽古で拭き、先輩達に優勝旗をプレゼントできるように頑張りたいと思います。

(主な戦績)

・令和元年度東海高等学校総合体育大会(令和元年八月藤枝市武道館)

団体の部 優勝

- 長田 梨奈・直田 李穂
- 中尾 桜子・渥美 麻友
- 高林 由珠・鈴木 花奈
- 正成 桃実

女子個人の部 3 位

- 長田 梨奈・直田 李穂



・令和元年度全国高等学校総合体育大会(令和元年六月沖縄県立武道館)

個人の部・演技の部出場

- 長田 梨奈・直田 李穂

・平成元年度三重県高等学校新人なぎなた大会兼全国高等学校選抜なぎなた大会(令和二年一月高田高校)

女子個人の部 優勝

- 渥美 麻友

団体の部 優勝

- 渥美 麻友・高林 由珠
- 鈴木 花奈・正成 桃実
- 古田 瑞歩

全国選抜大会への出場権を獲得。(大会は中止)

■高校新体操部

新体操部です。本年度も部員一同、部活と勉強の両立を目指し、日々練習に励んでいます。昨年度から高田高校には、新体操の演技フロアが常設されています。天井も高く、これまでではできなかった個人競技の投げ技の練習もすっかりと行える環境になっています。公式大会も開くことのできる立派な施設であり、日頃から試合を想定した練習ができます。これまで以上に生徒たちの活躍が期待できます。その一方で、結果を出していかなければならないというプレッシャーも感じています。

本年度はコロナウイルスの影響で、

春季大会、県総体(インターハイ予選)、東海大会等が中止になりました。今年の三年生は個人競技のみならず、団体競技にも力を入れてきたためにとても残念です。現在のところ、インターハイ(群馬県高崎市で開催予定)は未定のため、もし開催されることになれば、全力で取り組んでいきたいと思っています。

最後になりますが、新体操部OBの皆様の心暖かな応援ありがとうございます。今後も、各種大会において、審判等をお願いをさせていただきます。今後はより多くお願いします。また、お時間がありましたら、新しい施設や大会を見に来ていただきたいと思っています。

■高校放送部

高田高等学校放送部は、令和元年度第六十六回NHK杯全国高校放送コンテスト三重県大会において、全七部門全てにエントリーし、そのうち五部門で全国大会出場を果たし、さらに今年初の研究発表部門で最優秀受賞を受賞しました。これを受けて、七月に行われた第六十六回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会では、テレビドキュメント部門において、初の決勝進出を果たし、夢のNHKホールでの発表を実現しました。決勝の結果、テレビドキュメント部門『宿題』を通して見えたもの』が第三位優秀賞を受賞し、ラジオドキュメント部門『コア

パワード』が五位入選、アナウンス部門で六年の河合麻衣さんが第五位入選を果たしました。部員、顧問一同本当に良い経験をさせていただきました。

また、高田中学校放送部は、第三十六回NHK杯全国中学校放送コンテスト三重県大会で、アナウンス部門で最優秀賞一人、優秀賞三人、朗読部門で優秀賞四人、ラジオ番組部門で最優秀賞、テレビ番組部門で優秀賞をそれぞれ受賞し、第三十六回NHK杯全国中学校放送コンテスト全国大会に出場しました。全国大会では、アナウンス部門と朗読部門で、ともに決勝に進出し、八月に東京で行われた決勝大会で、三年生の生杉綾香さんが優秀賞(二、四位グループ)を受賞し、朗読部門では二年生の小林杏さんが優良賞(二、十位グループ)を受賞しました。中・高ともにこのような結果をいただき、取材等に協力していただいた方々に感謝しています。先生・生徒の皆様、樹心同窓会、放送部OB・OG、麹町中学校の工藤勇一校長先生、株式会社サイボウズの青野慶久社長、宿題代行業者お助けメロンさん、IPA独立行政法人情報処理推進機構、三重県警察の皆様、本当にありがとうございました。長年の夢であった全国大会決勝のNHKホールでの発表を実現できたので、来年は「全国優勝」を目指して一から頑張りたいと思います。本当にありがとうございます。

私たちがバトン部は三年生十六人、二年生十人の計二十六人で活動しています。平日の放課後に体育館のステージで練習しており、大会前や文化祭前になると、一日練習や土日の練習も増え日々頑張っています。未経験者が圧倒的に多い中、今年の三年生には経験者が二人おり、私たちにとってはとても力になる存在でした。活動の内容は、技の練習はもちろん、曲の編集や振り付け衣装など一人から自分たちで意見を出し合い作品を完成させます。その作品発表の場は多くあり、体育祭や文化祭、部紹介などの学校行事で演技披露をします。体育祭では開会式のパレード、文化祭ではバトンに加え、ポーンを使ったチアダンスやリング・フラッグを使った演技をします。観客席からのたくさんの声援や拍手をもらうことは、最高に嬉しいものです。学校行事以外にもバントワーリングの団体戦や個人戦の大会にも出場します。団体戦はとても広い会場で、部員全員で一つの作品を演技します。全員が同じ動きをするため、団結力・チームの力がとても大切になります。今年も三年生の四人が大技に挑戦し、三重県大会では金賞、東海大会では銀賞を獲得することができました。また個人戦は団体戦と

■高校バトン部

違う緊張感があり、一人で演技をするというプレッシャーを抱えながらも一人一人が金賞を目指して一生懸命、演技に取り組みます。さらに夏に行われる高校野球の際は、応援席で野球部さん、吹奏楽部さん、応援団の方々と一緒に応援をします。三年生は野球応援で部活を引退するので、野球部さんが少しでも多く勝ち進められるように、全力で盛り上げ、応援します。

このようにバトン部で活動をし、頑張ってきた練習の成果を発表する喜び、演技し終えた後の達成感、人を応援する楽しさなど、たくさんのごことを体験することができました。

これからもこの喜びや楽しさ、達成感、忘れず部活動を充実したものにしたいです。

■高校演劇部

演劇部の最近の活動についてご報告申し上げます。

昨年度は、夏の地区大会で優秀賞を受賞し、県大会に進出。県大会でも最優秀賞・中日賞を受賞し、中部日本高等学校演劇大会での上演権を得ました。そして十二月末に富山県の富山県民会館で行われた中部日本高等学校演劇大会では奨励賞・全国高等学校演劇協議会長賞を受賞しました。なかでも、全国高等学校演劇協議会長賞を受賞したのは本校初の快挙です。その演目は「変」。本校の制服規定変更に着想を得た創作脚

本で、文化祭・冬公演も含め、たくさんの方に観劇いただきました。まことにありがとうございます。

現在は、新型コロナウィルスの影響で、三月末の春季大会が中止になりました。例年夏に行われる演劇大会も、延期あるいは中止になるかもしれません。少なくとも、従来通りの演劇環境が戻ってくるのはまだ先になるでしょう。しかし、演劇をやりたい生徒がいる限り、できる限りの対策をしながら、演劇ができる環境を模索していきたいと思っています。上演が叶った暁には、是非みなさま劇場に足をお運びくださいませ。

■高校仏青インターアクト部

「仏青インターアクト部の活動について」

活動について

三年F組 庄司 衣吹

私たち仏青インターアクト部は三年生二十一人、二年生十五人で楽しく活動しています。

活動の内容は、学校内では仏教行事の準備や林間学校でのお手伝い、校外では青少年赤十字連盟や津市教育委員会などが主催する活動への参加、また災害などへの支援募金、老人ホームへの慰問、地域社会では高田本山専修寺での行事のお手伝い、一身田寺内町の清掃活動やJR一身田駅の花の植え替えなどを日々積極

的に行っています。

昨年はシルバーケア豊寿園で働く講師の方々から、認知症サポーター養成講座の研修を受けました。素晴らしいお話を聞かせていただき、認知症の方々が住み慣れた地域で気持ちよく安心して暮らしていけるよう各自が自覚を持って地域社会への奉仕活動をしていきたいと改めて思いました。

今、新型コロナウィルスでマスクが不足し、たくさんの方が困っています。その為、部員全員で布マスクを作り、少しでも多くの人に使用していただきたいと考えています。毎日一つ一つ手作りで一人一人が心を込めて作っています。このマスクがお手元に届き、一人でも多くの方が喜んでいただけることを願っています。私たちの活動は感謝されることが多く、その時に相手の方が向けてくださる笑顔がとても素敵に感じられます。そしてその笑顔にとっても励まされます。それからもたくさんの方が笑顔でいられるように私たちは今まで以上に幅広い活動を行っていきたくと考えています。



国際交流委員会

第二十六回

オーストラリア交換留学

若林 広 繁

九月十五日から九月二十六日まで
の十二日間、二十六回目となる
オーストラリア交換留学プログラム
にオーストラリア教員四名と生徒
二十三名が参加しました。

十五日昼に、セントレア空港から
高田本山駐車場に到着しました。高
田本山駐車場にはホストファミリ
ーにお出迎えをしていただき、対面し
ていただきました。教員もそれぞれ
ホストの先生と休日を通り、非常
に貴重な文化交流ができました。

今回のプログラム内容は、伊勢神
宮でおかげ横丁と朝熊山の散策、清
水寺と金閣寺を巡る京都研修や滋賀
研修等、お馴染みの研修に加えて新
たな研修に生徒達も楽しんで日本文
化に触れることができました。初日
には、まず入校式を行いました。大
勢の生徒たちの前でスピーチを行
ったオーストラリア代表生徒は、
緊張しながらも堂々と日本語での
挨拶に本校の先生方も感激されてい
ました。入校式後、オーストラリア
生徒たちは本山表敬訪問を行い、歴

史的建造物を目の当たりにして驚きと
喜びの表情で溢れていました。帰校
後すぐに、伊勢研修に出発し、伊勢
おかげ横丁では三重県伝統の赤福な
ど、食べ歩きに夢中になっていまし
た。その後は、朝熊山に移動し、絶
景から見える夕日に感動した生徒は
多くいました。

四日目は本校文化祭行事であり、
留学生はホスト生徒とともにクラス展
示を一緒に巡り、本校生徒たちと
たくさん触れ合うことができました。

交流学年である高校1・4年生だけ
でなく、上級生学年や中学生たちの
クラス展示にも遊びに行くなどして、
本校たくさんさんの生徒たちと触れ合
う時間が多く、毎年好評になっています。

五日目は京都研修で、バスに乗っ
て清水寺と金閣寺を巡りました。清
水寺の上から眺めることができる景
色に留学生も喜び、たくさん写真を
撮っていました。校外研修の中では、
この京都研修が留学生にとって一番
心に残る場所であると言われていま
す。清水寺参道に連なるお土産屋で
は、留学生たちが時間いっぱい買い
物を楽しんでいました。

六日目、七日目、十日目は授業に
参加し、体育や家庭などの実技授業
だけでなく、英語はもちろん、数学、
国語、社会、理科などの教科にも幅

広く参加してもらい、本校の多くの
生徒たちと交流を深めました。英語
の授業では、英語と日本語を使い、
ジェスチャーも交えながら必死にコ
ミュニケーションをとる日本人生徒
の姿も印象的でした。

十日目の放課後には、高田会館に
て修了証書授与式とTea Party
を行いました。ホスト生家族も
お招きして、留学生から歌や劇を取
り入れたパフォーマンスなどが行わ
れました。ケーキや軽食も用意した
Farewell Party (お
別れ会) にもなるので、約一時間半
があつという間に感じるほど、有意
義な時間となりました。

研修最終日には、滋賀県の比叡山
延暦寺とラ・コリーナ近江八幡へ行
き、全ての研修を終えました。

このプログラムは今回で二十六回
目を終え、本当に長く交流が続いて
いる理由には、高田学苑とオースト
ラリア両校との強い信頼関係と絆を
感じます。国を越えた人と人とのつ
ながりは言葉だけでなく、おもてな
しや思いやりの心が大きく影響して
おり、毎年このプログラムに関われ
る人たちが増え続けていくことが将
来多くの人たちがグローバルに活躍
していくことに繋がると期待してい
ます。残念ながら、二十七回目のオ

ストラリア訪豪プログラムは、コロ
ナウイルス感染拡大防止のため、中
止となりました。しかしながら、今
回プログラムに参加した生徒たちは
留学生との交流を2つの通じて継続し
ており、今後もそれぞれの絆が断ち
切れることはないと感じています。

今回のプログラムに多大な尽力を
賜った皆様をはじめ、このプログラ
ムを立ち上げ、ここまで素晴らしい
交流プログラムに築き上げてきてい
ただいたすべての方々には厚く御礼申
上げます。ありがとうございます。

希望者233名(同231名)、就
職決定者230名(同230名)、
未内定者3名(同1名)となり、就
職率は98・7%(同99・6%)とい
う結果でした。なお、進学者は4名
(同3名)、家事等従事者は5名(同
6名)でした。また、県外への就職
は12名(同14名)であり、県内就職
率は95%(同94%)となりました。

学科別では、子ども学科卒業生
158名(昨年度158名)のうち、
幼稚園7名(同16名)、保育園97名
(同81名)、子ども園25名(同35名)、
児童養護施設等17名(同7名)、社
会福祉施設等6名(同2名)、一般
企業3名(同11名)でした。進学は
1名(同2名)、家事等2名(同4
名)で就職率は例年どおり100%
となり、専門職としての就職者も全
体の98%(同93%)と高率です。ま
た、市町公務員試験では34名(同21
名)が保育士・幼稚園教諭職に合格
し、10名(同6名)が嘱託又は臨時職
員として就職しました。今年度も公
務員試験に多数の合格者が出たこと
(合格率68%、昨年度60%)、幼稚園・
子ども園への就職が減り、保育園・
児童養護施設等への就職が増えた
ことが特徴として挙げられます。

キャリア育成学科オフィスワーク
コースの卒業生数は67名(同60名)

短大だより

令和元年度の進路状況について

キャリア支援センター

樹心同窓会の皆さまには、平素よ
り学生の就職活動にご理解、ご支援
を賜り、誠にありがとうございます。
また、本学の就職状況が良好である
のも同窓生の皆さまに対する社会の
高い評価のお蔭と深く感謝いたして
おります。

さて、令和元年度卒業生の3月末
現在の進路状況について報告します。

全体の状況は、卒業生242名
(昨年度240名)に対して、就職

希望者233名(同231名)、就
職決定者230名(同230名)、
未内定者3名(同1名)となり、就
職率は98・7%(同99・6%)とい
う結果でした。なお、進学者は4名
(同3名)、家事等従事者は5名(同
6名)でした。また、県外への就職
は12名(同14名)であり、県内就職
率は95%(同94%)となりました。

学科別では、子ども学科卒業生
158名(昨年度158名)のうち、
幼稚園7名(同16名)、保育園97名
(同81名)、子ども園25名(同35名)、
児童養護施設等17名(同7名)、社
会福祉施設等6名(同2名)、一般
企業3名(同11名)でした。進学は
1名(同2名)、家事等2名(同4
名)で就職率は例年どおり100%
となり、専門職としての就職者も全
体の98%(同93%)と高率です。ま
た、市町公務員試験では34名(同21
名)が保育士・幼稚園教諭職に合格
し、10名(同6名)が嘱託又は臨時職
員として就職しました。今年度も公
務員試験に多数の合格者が出たこと
(合格率68%、昨年度60%)、幼稚園・
子ども園への就職が減り、保育園・
児童養護施設等への就職が増えた
ことが特徴として挙げられます。

キャリア育成学科オフィスワーク
コースの卒業生数は67名(同60名)

で、主な業種として卸・小売業17名(同17名)、サービス業9名(同11名)、金融・保険6名(同8名)、製造4名(同5名)、建設2名(同3名)、医療・福祉8名(同4名)、運輸・情報通信8名(同4名)等、計59名(同58名)が一般企業に就職しました。家事等は3名(同1名)、進学は2名(同なし)、未内定は3名(同1名)でした。総じて、例年どおりの順調な結果と言えます。

同学科介護福祉コースでは、卒業生17名(同22名)のうち、老人介護施設に15名(同20名)が、一般企業に1名(同なし)が就職し、進学は1名(同1名)、家事等はなく(同1名)、未内定もなし(同1名)でした。なお、卒業生のうち、外国人留学生が7名でした。

最後に、求人状況について、本年度、保育所・幼稚園・児童養護施設から1,287人(同1,298人)、一般企業から696人(同779人)、老人・障がい者施設から384人(同431人)の求人があり、依然として保育関連、企業、社会福祉施設とも求人数が多く、売り手市場の状況は変わっていません。

暖かく見守っていただくとともに、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

短大部会だより

北端 一子

キャリア支援センターからの報告といたします。

令和二年になって喜びの中、コロナウイルスが広がってきて、外出も思うように出来なくなりました。近所の寺で、毎月初めに『みつき会』があります。中止となりました。

公民館活動も中止、電話や手紙には中止になったという連絡が続きました。外出を控えてと言われると、素直に「はい」と言う自分と「なんですか？」という自分がいます。拡大を防ぐためという事を理解していても思ってしまう。ただ早く終息してほしいと願うばかりです。

ようやく田植えも終わりました。今年も、孫も一人前に手伝ってくれて、もうこんなにも力があるのかと、自分の老い比べて、嬉しくなってきました。手伝ってと声をかけたら、両親と一緒に手伝いに来てくれる幸せを感じています。「これからもよろしくね」と思いながら、孫の成長を見ながら一緒にしました。

を見て決めるという事になりました。高短祭もどうなるか分かりませんが、臨機応変に対応出来るように準備していかねばなりません。昨年度も高短祭に役員だけでなく、同窓生も手伝ってくれて、とても助かりました。当日に役員が全員出席出来ない時もあるので、とても助かります。バザーを楽しみに、いつも来ていただける方がいます。待っている方々のためにも続けていきたいので、若い方の力を借りようと思っております。購買意欲が出来るような配置の仕方、品物の置き方、値段をいくらにしたらいいかなど、意見を参考にしたいし、取り入れていきたいです。バザーの収益金は、同窓生の集まり、同窓会の手助けになればと補助金として出しています。なつかしい友との再会を考えてみたらどうでしょうか？その機会の一つに高短祭がいいかと提案します。ぜひ考えてください。そして、同窓会がしていただくバザーをのぞいてください。教えていただいた先生方や先輩・後輩がいらっしゃるかも分かりませんよ。そして何かお気に入りがありましたら買ってください。待っています。



会員だより

卒業五十周年同窓会を開催しました

一期生幹事代表 西谷 享 一

六年制一期生の同窓会の報告です。令和元年十月二十日に卒業五十周年同窓会を津駅前ホテルで開催しました。卒業生三十六名、鬼籍に入っておられる方が四名、残る三十二名全員に開催通知を出すことができ、二十一名の出席でした。恩師の中村弘先生は高齢で埼玉県にお住いのため、ご案内は遠慮させていただきました。卒業生のみのお会となりました。



中山酒造

ほぼ十年間隔くらいで同窓会を開催していますが、皆さん全て出席しているわけではないので、五十年ぶりに見る顔や、二十年三十年ぶりに見る顔であっても、これでは街ですれ違っても分からないよねという変貌ぶりの方も多く、驚きの声で会のスタートとなりました。

一分間スピーチの近況報告では、五十年前に高校を卒業し、大学生活などを經由して社会に巣立ち、皆さん様々な経験を得て人生の終盤に差し掛かっていることが実感されました。完全リタイア組と自営業や退職後に第二第三の人生で勤めを継続している組とほぼ半々程度の比率のようです。様々な趣味で生活を楽しんでいる人も多く、和気あいあいの二時間半の時間もあっという間に過ぎ、お別れとなりました。この50周年の会を契機として、旧交を温める会や女子会などに繋がっていけば良いと思います。今後も健康に留意しつつ人生を楽しんでいきたいものです。

最後に、東京で六年制同窓会が二十年ほど毎年開催されていますが、

そのご縁で松坂の中山酒造さんから写真の日本酒を頂戴しました。ありがたく乾杯させていただきました。ご厚意に深く感謝いたします。

~~~~~

### 三一会開催だより

(昭和三十一年三月卒業により同窓会を三一会と名付けています)

三一会は第三回(第十五回)では、一泊二日でしたが、会員からの要望で高齢により、第十六会は令和元年十一月十八日(月)日帰り、津駅前アスト津B1日本海庄や様で、十九名の出席で開催した結果、六十四年ぶりの会員や、東京に住まいの会員の出席もあって、大変懐かしく、和やかで、楽しいお話が途切れず、あつと言う間の三時間が経過した後に、母校見学と高田本山参拝を企画していましたが「足腰が弱いから急遽中止して下さい」という総意により、折角事前準備していたのだいた、高田学苑樹心同窓会事務局長 安井敏明様にその旨ご連絡を致しましたところ快く承諾していただきほっとしました矢先に、これでお開きは物足りないという会員もあり、近くのカラオケ店に数名移動し約二時間、日頃鍛えられた名声中、

元氣ハツラツ一層又々盛り上がりました。三一会は今回が最終かと思っていたところ「八十八歳まで三一会を継続して開催しよう」という要望により、明日からは又健康に気配りし、再会しようと思いを新たにしました。従来の三一会のお知らせは、往復はがきで発信していましたが、今回は経費削減に、電話での内諾者のみハガキで念のために発信しました。電話でのご案内の時に近況情報の把握を兼ねて、出欠を募った結果、ご親族様などから「いついつに他界しました」という悲しい情報も多々あつて「明日は我が身かなあ」とひしひしと感じた反面、「どこそこの身体が不調」との会員が想定以上に多くおられたが「現在も現役です」と、仕事に携わっている会員が数名ありました。さすが卒業後六十四年の歳月を感じましたが、人生一〇〇歳の時代を迎え、一日いちにちを有意義に過ごし、又趣味などの楽しみと、未だ未だ世のため人のため一層頑張らなくてはと奮起した次第ですが、少々の身体の不調は、今後残された生涯、友達と思つてうまくつきあつて行かねばならないかも知れません。

名・女性三十六)の二十八%も他界された中で、今までお世話になった幹事や出席率の良い会員も含まれていましたので、今後の三一会の出席減はその分、免れないですが、三一会同志が、お誘いの声を掛け合つて継続に努力しようと意気投合しました。今回でこの三一会は発展的解消かなあとの推察により、初めての試みとして「木馬」その二 三一会備忘録をA4サイズ十二ページの小冊子の発刊で、その記事内容は、在学当時の写真九点、三一会の思い出、卒業生として、母校に期待する事項、樹心会報から抜粋事項、今回の出席名簿、故人名簿、三一会開催履歴、担任の恩師、教科の恩師、我々昭和二十八年三月の受験志願者数と入学生数、三十一年三月の卒業生(いづれも男女別)、部活状況、三十年度生徒会役員リストをそれぞれ作成し、今回の出席者に配布しました。樹心同窓会事務局長 安井敏明様に、母校見学のキャンセルのお詫びを兼ねて十一月二十一日に母校にお伺いし、その小冊子を一部お届けしましたら、事前に準備して下さった「高田学苑 開校一三〇周年記念誌・学苑二〇一九・樹心会報 第六十四号」の二十セットを頂戴しましたので、

す。事務局長様お手数をおかけしました。ありがとうございます。次回の開催は令和二年十一月九日(月)津駅東口改札口十一時三十分の集合の日帰り企画です。三一会のみなさんは、事前に電話で出欠を募りますので予定を置いて下さい。第十六回と同様に幹事を不詳、服部丈澄(旧姓:川岸)が携わりますので、同志のお誘いのご支援で、どうか一人でも多くの出席を期待しておりますのでよろしくご協力ご支援を節にお願い申し上げます。尚、第十六会三一会での幹事の不手際は、大らかなハートでご容赦下さい。出席者のご協力とご配慮でことなく終了し、感謝! 感謝! サンキュー! 合掌

~~~~~

山田 三男

私は昭和十九年三月、旧制中学卒業の山田三男と申します。長らく亀山市関町に住んでいましたが、二〇〇一年四月、当時長女夫婦が住んでいた多摩ニュータウンに転居し、現在は自宅(川崎市)近くの老人ホームで暮らしています。

自作川柳

生きています今年も出せた年賀状
人生の予定になかった妻のボケ
LED長持ちしても命なし
恥ずかしいそんな気がありや
まだ若い

カラオケ、植物観察会などいろいろな集まりに参加し、楽しい老後を送り、毎日晩酌も楽しんでます。私達の青春時代はまさに戦中戦後、あの戦争に巻き込まれて命を落としたり者もいました。そんな過酷な時代を私は幸運にも生き残り、94歳まで長生きすることができました。大変幸せなことだと感謝しています。しかし、最近では毎年のように知人、友人の訃報が届き言ひようのない寂しさも感じています。若き日の同級生の顔が次々と浮かび、皆の安否が気にかかる今日この頃、この記事を読んでくれた同世代の皆さん、元気ですか? 長生きは楽しいことばかりじゃないが、ここまで来たら一〇〇歳越えめざしてお互い頑張りましょう!

• 今日また一杯飲んで元氣なり
• 運動は転ばぬ先の杖になり

樹心同窓会協力金にご賛同いただいた会員の皆様

●ありがとうございます●

(卒業年度順)

山 口 俊 二 (旧中 S22)
伊 藤 清 一 (高校 S28)
赤 塚 勝 (中 3 S34)
紀 太 允 (高校 S36)
藪 谷 為 雄 (高校 S37)
前 川 伸 一 (高校 S42)
西 井 美 孝 (高校 S43)
鈴 木 光 信 (高校 S43)
渡 邊 恵 一 (高校 S43)
堀 部 恵 子 (高校 S43)
赤 星 育 美 (高校 S43)
大 森 信 男 (高校 S43)
西 川 徹 (高校 S43)
安 井 敏 明 (高校 S44)
北 端 一 子 (短大 S45)
松 田 英 明 (中 6 S45)
鷺 尾 尚 史 (中 3 S50)
曾 我 嘉 範 (中 3 S50)
草 川 知 美 (中 3 S50)

西 田 昭 二 (高校 S53)
田 村 欣 也 (中 6 S53)
水 谷 繁 宏 (高校 S53)
田 畑 桂 子 (高校 S53)
田 中 悟 (高校 S53)
秋 田 典 子 (高校 S53)
藤 井 徳 雄 (高校 S54)
大 柴 直 子 (高校 S54)
三 上 紀 人 (高校 S63)
山 崎 倫 敬 (高校 S63)
鷹 阪 智 信 (高校 H10)
吉 野 桃 子 (中 6 H10)
平 本 拓 也 (中 6 H10)
佐 藤 宏 之 (中 6 H20)
中 川 皓 貴 (高校 H20)
伊 藤 裕 之 (高校 H20)
森 雄 飛 (中 6 H20)
宇 陀 木 人 (高校 H29)

協 賛 企 業 様 一 覧

令和 2 年 6 月 19 日現在 (五十音順)

名 称
愛 知 (株)
ア イ ン ズ (株)
荒 川 制 服 (株)
(株)アルファールトラ
伊 藤 印 刷 (株)
津 伊 藤 販 売 店
岡 三 証 券 (株)
岡 写 真 館
オ ー ク ト リ ー (株)
(株)オリエントタル
(株)カンキョー
近畿日本ツーリスト(株)津支店
(株)鴻池組
三 和 書 店
(株)システムテクノ
杉 新 衣 装 店
鈴 木 商 事
セ コ ム 三 重 (株)
瀧 本 (株)
第 三 銀 行
千 卷 印 刷 産 業 (株)
(株)中京銀行津支店
(株)中部都市建築設計事務所
長永スポーツ工業(株)三重支店
(株)津ドライビングスクール
(株)辻工務店
筒 井 印 刷 (有)

名 称
東 海 土 建 (株)
(株)東海フォトデザインシステム
東 邦 ガ ス (株) 三 重 支 社
富 や
ト ン ボ
ス ー パ ー ニ シ イ
(株)西 出
(株)白揚ブックセンター
写 真 の は せ
長 谷 川 体 育 施 設 (株)
(有)樋口商店
(株)百五銀行
富 士 ゼ ロ ッ ク ス 三 重 (株) 津 営 業 所
藤 原 工 業 (株)
(株)武 道 東 海
ブ リ ク ス ト ン
(株)フレンド ヤマザキショップ
プ ロ フ ォ ー ト コ バ ン
(有)平治煎餅本店
別 所 書 店
(株)ヘルシーファミリー
ポ ッ カ サ ッ ポ ロ フ ォ ー ド & ビ バ レ ッ ジ (株)
本 の 王 国
三 重 ト ヨ タ 自 動 車 (株) 津 桜 橋 店
ミ ヤ タ ス ポ ー ツ
リ コ ー ジ ャ パ ン (株)
ヨ シ ダ 運 動 具 店

西 井 晴 彦 (S五十三卒中三)

二〇一八年一月二日(火)中学校卒業以来四十年ぶりの同窓会(三年制)をプラザ同津にて開催。三十九名の同窓生が集いました。当時は五十五歳となる年度。次回は、還暦を迎える五年後・・・を、待たず、二回目の同窓会を二〇二〇年一月二日(木)、都シテイ津(旧都ホテル)で開催しました。幹事としては、前回参加者約40名、今回は50〜60名を期待・・・とはならず・・・。

二十九名の集いでした。それでも、十名程は今回が初めて参加の方々のた会となりました。津市長前葉君の開催挨拶(前回の同窓会出席を切望しながら直前に体調不良で参加出来なかった幹事でもある日君の万感の思いのこもった乾杯でスタートしました。・・・やはり、予定の三時間はあつと言う間でした。また、当日は『農業始めました!』と言うU君より、自作のお米、イセヒカリを土産として参加者にいただく嬉しいサプライズもありまし

た。(後日、食された方々からは『美味しかった!』との声、多数。)本来はオリンピックイヤーでもあった今年度、同窓会開催後、数か月もたらず、誰も想像しえなかったコロナ禍に全世界が襲われる事となつていきます。拙文が掲載される頃ほどの様になつている事でしょう。普通の事が普通に出て来なくなると言う未曾有の出来事を経験するにつけ、皆が健康で集えると言ふ事はそれだけで幸せな事だと、あらためて思う次第です。コロナ禍の終息と、再び皆が健康で集える事を願つて、ご報告とさせていただきます。

追記：高中三年制を昭和五十三年(一九七八年)卒業生の方で、今まで同窓会のご案内が届かなかつた方は、同窓会専用アドレス takatyuu1978s53@gmail.com までご連絡ください。



